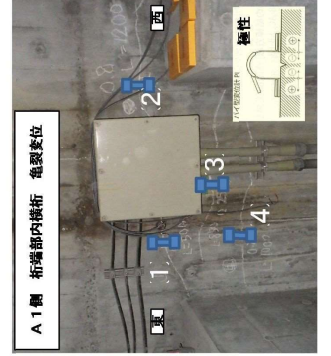
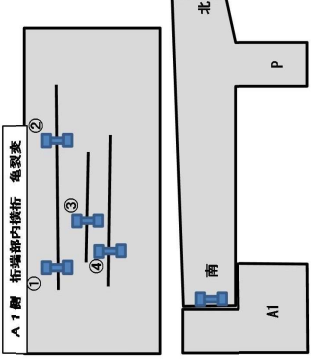
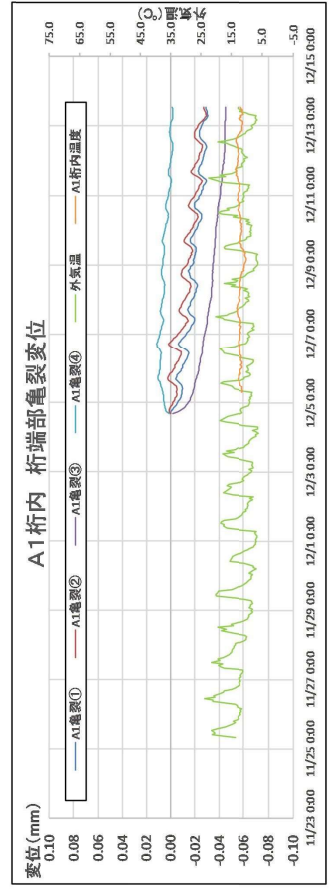
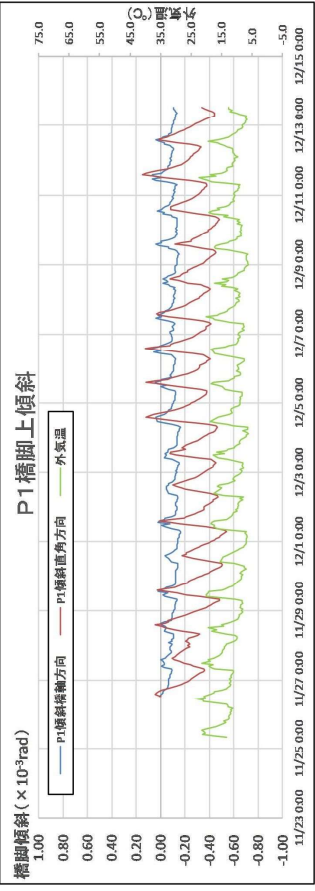
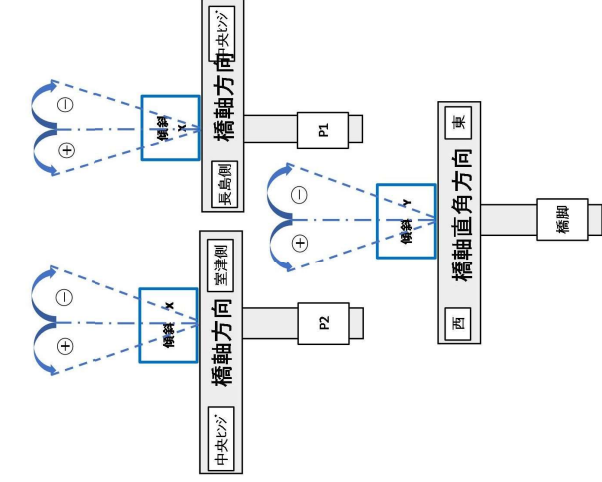
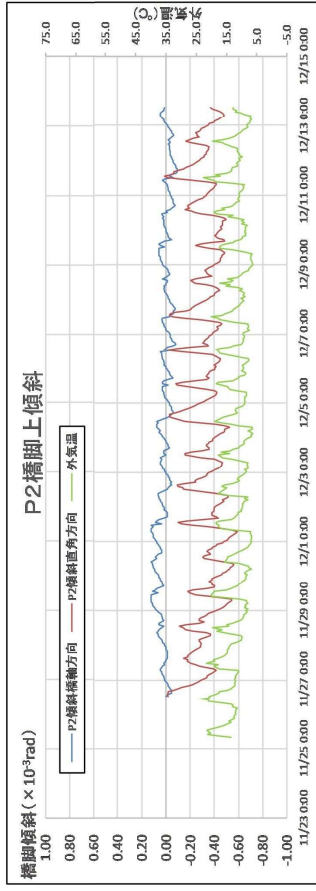
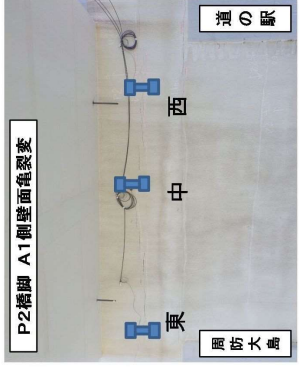
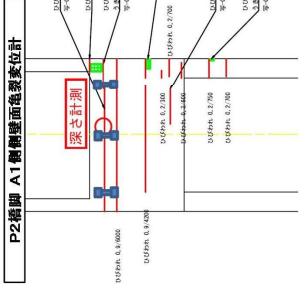
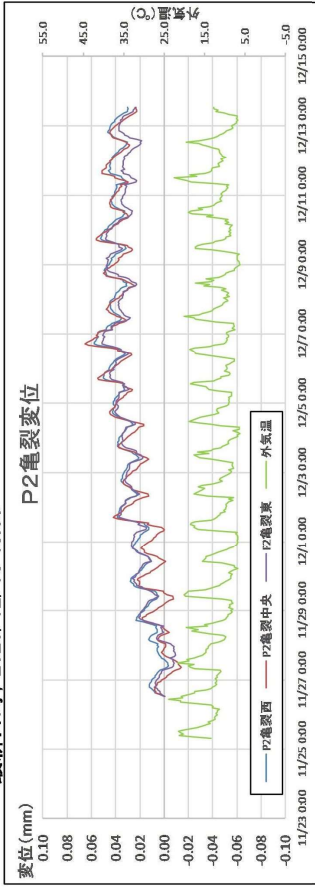


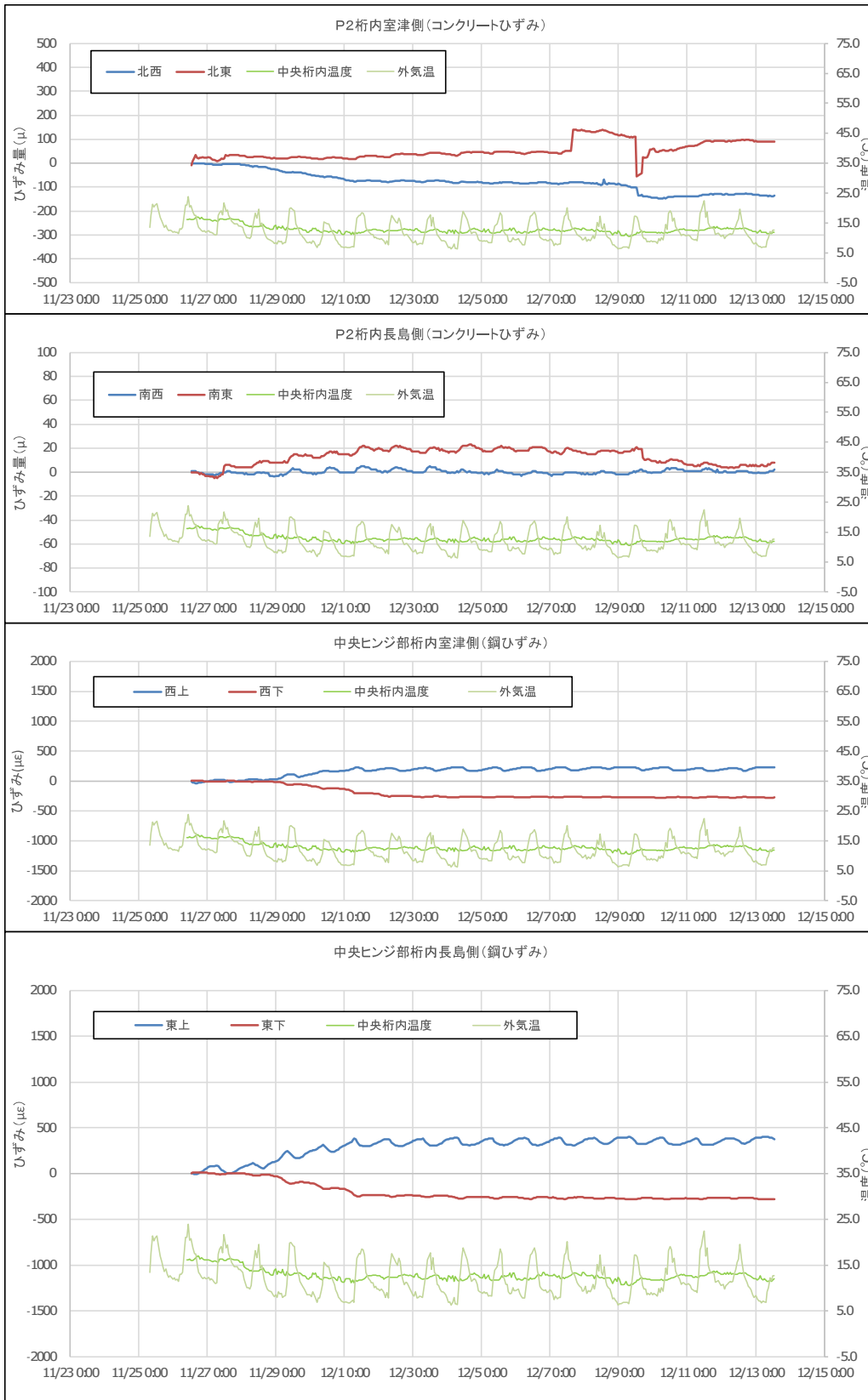
## 傾斜・亀裂計測

最新日時: 2020/12/13 13:00



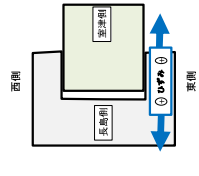
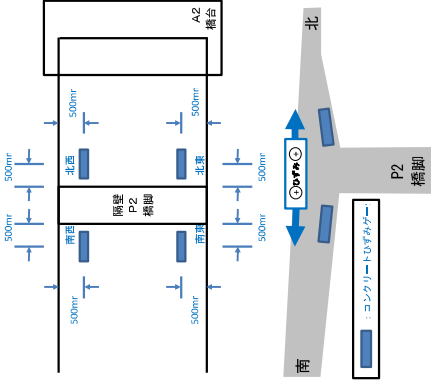
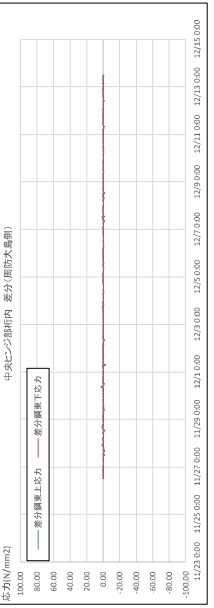
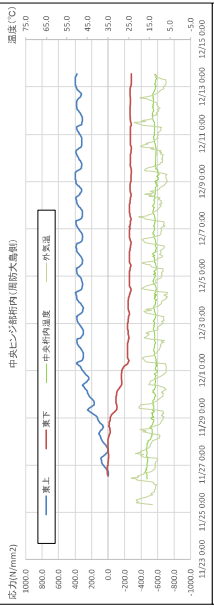
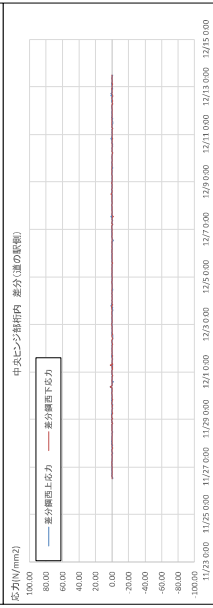
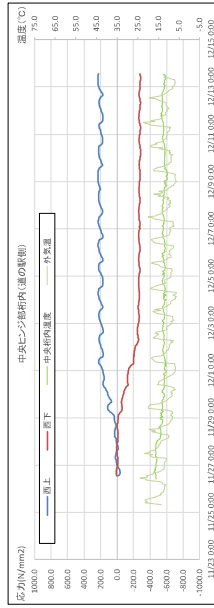
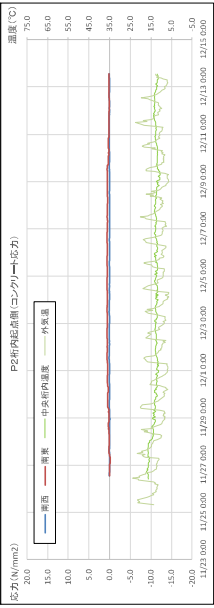
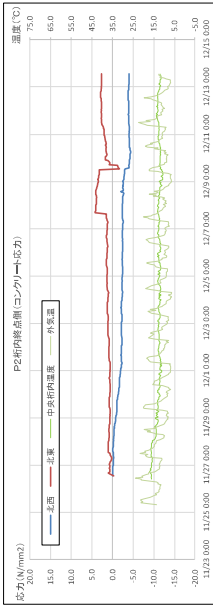
# ひずみ計測・応力推定

最新日時; 2020/12/13 13:00





最新日時: 2020/12/13 13:00



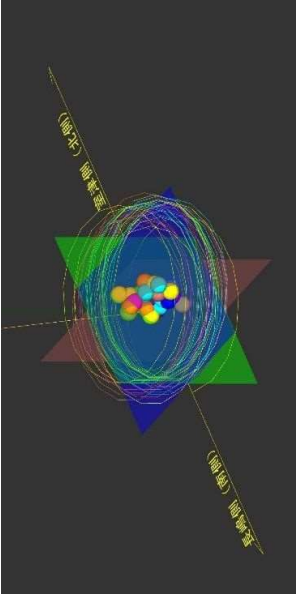
# 3 D 測量 ・ G N S S 測量

# 3D測量・GNSS測量

## 動態観測

【中央ヒンジ部】

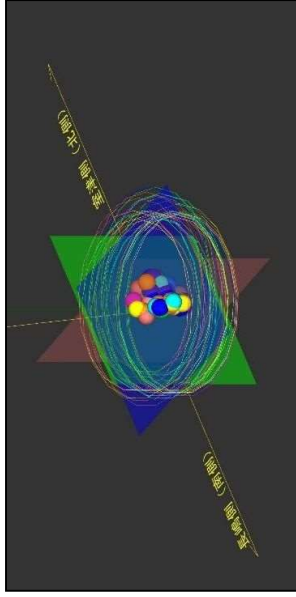
【H3】 球体；半径5mm, 外円；半径50mm



H3

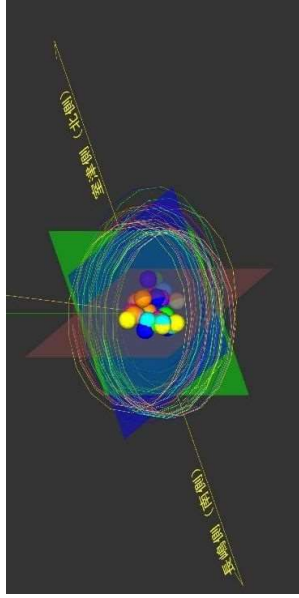
H1

【H1】 球体；半径5mm, 外円；半径50mm



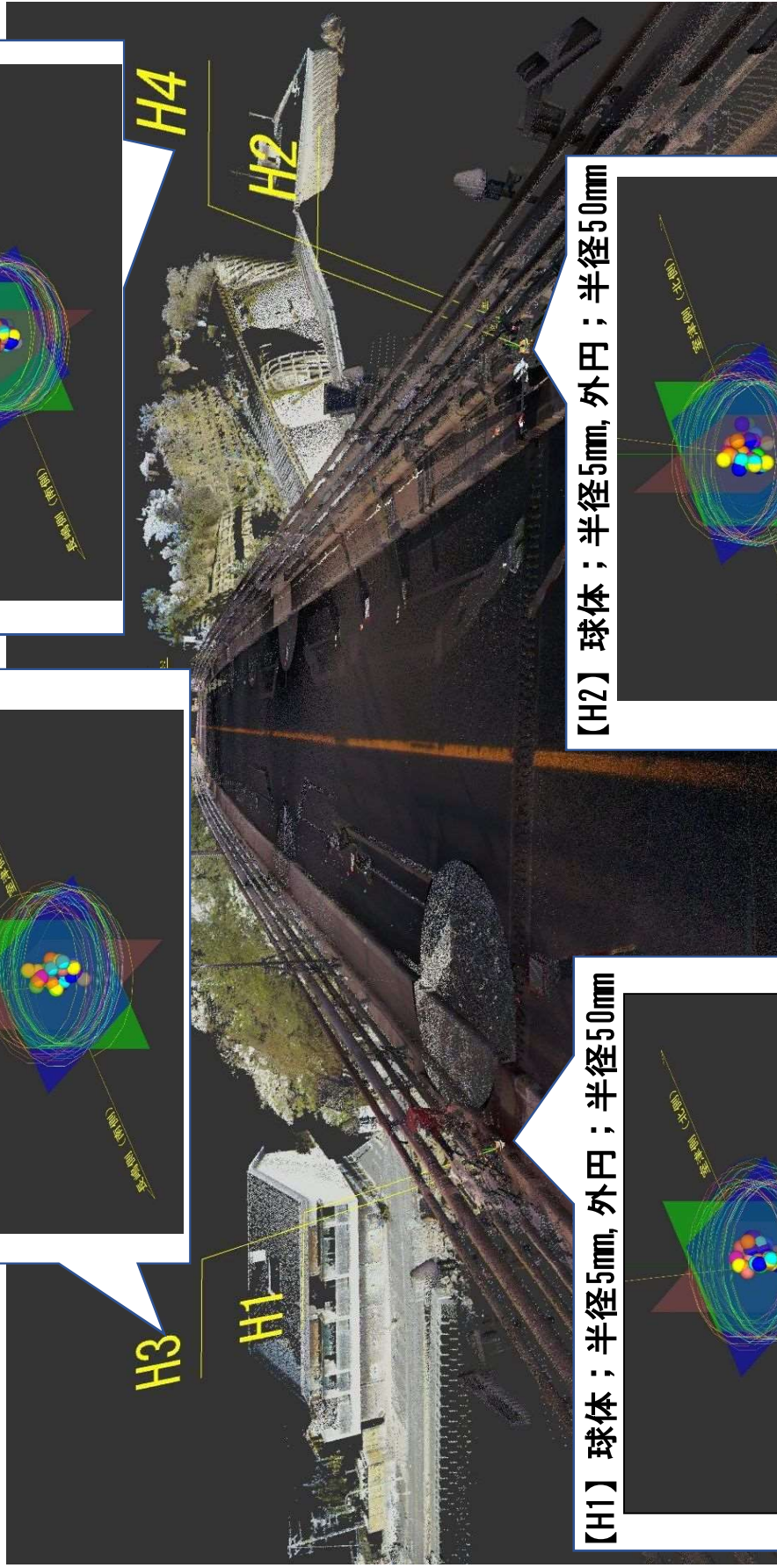
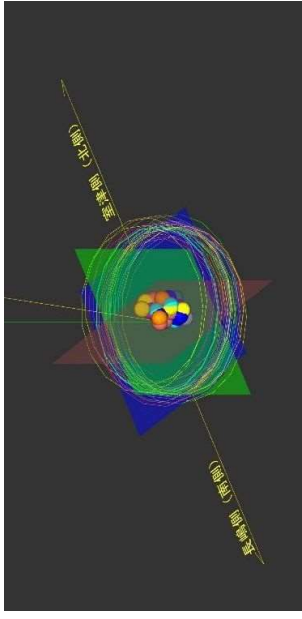
H2

【H2】 球体；半径5mm, 外円；半径50mm



H4

【H4】 球体；半径5mm, 外円；半径50mm

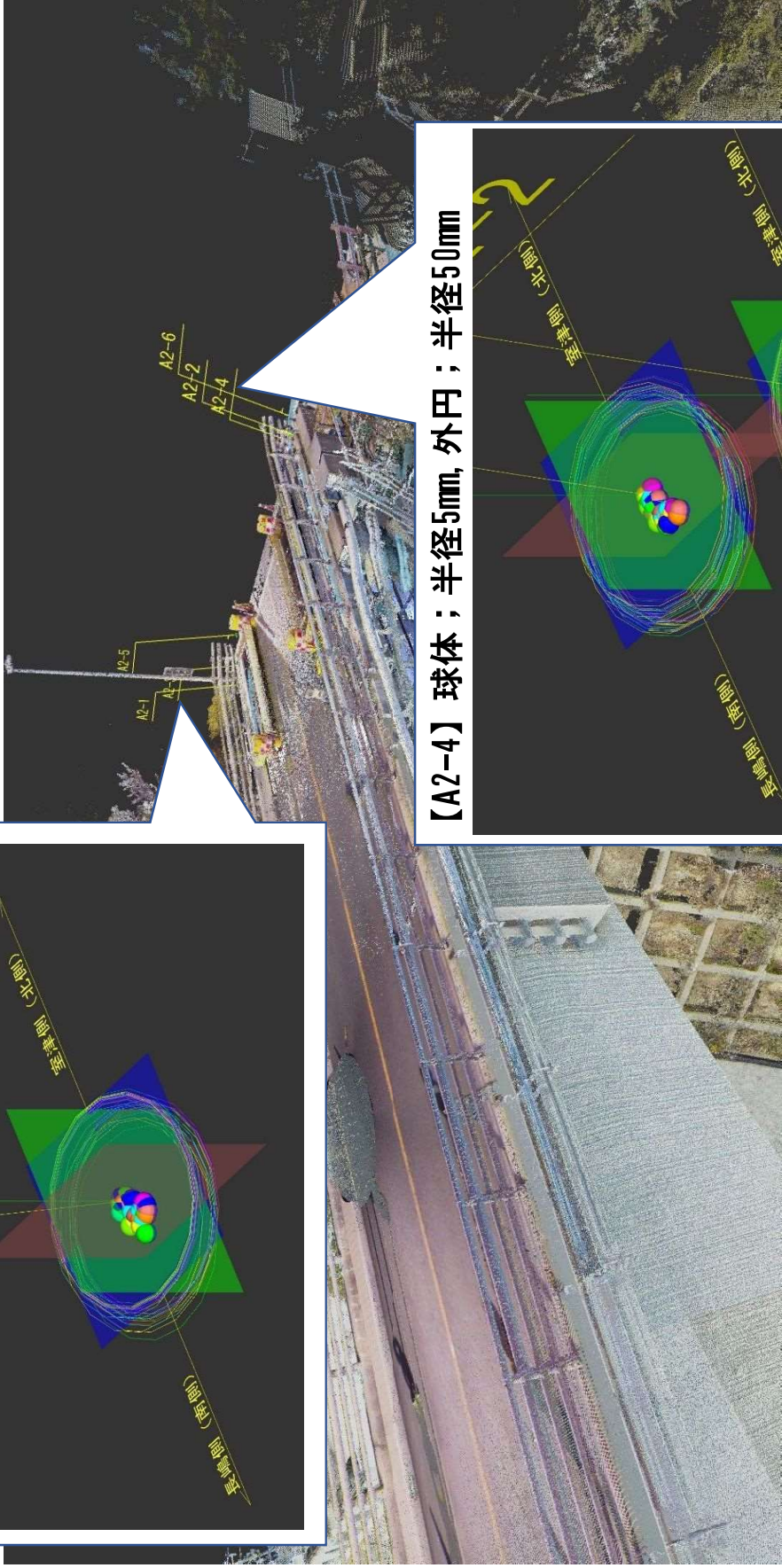
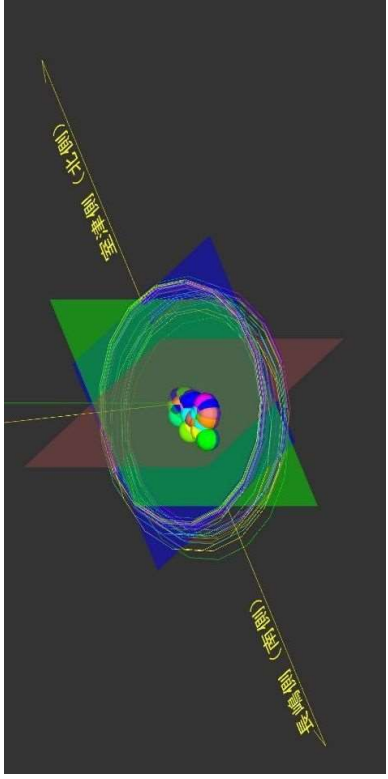


# 3D測量・GNSS測量

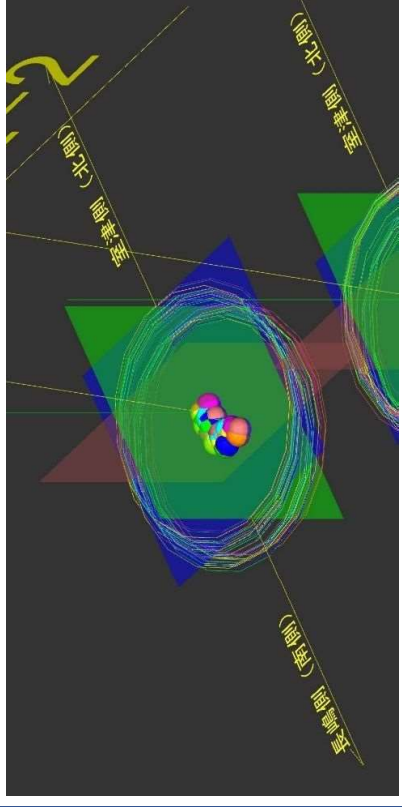
# 動態観測

【A2橋台部】

【A2-3】球体；半径5mm, 外円；半径50mm



【A2-4】球体；半径5mm, 外円；半径50mm





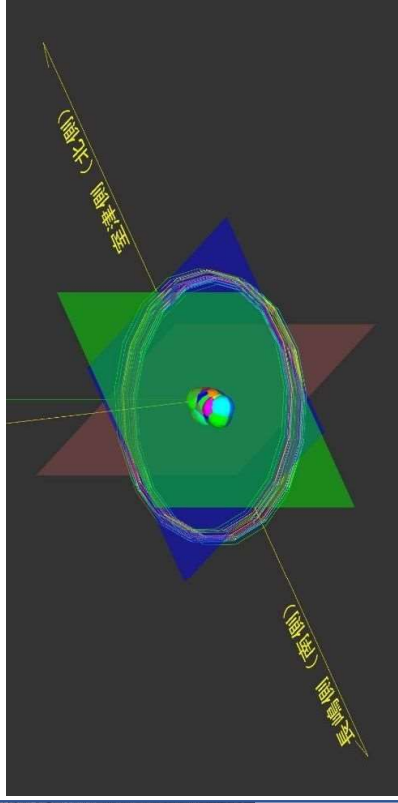
# 3D測量・GNSS測量

## 動態観測

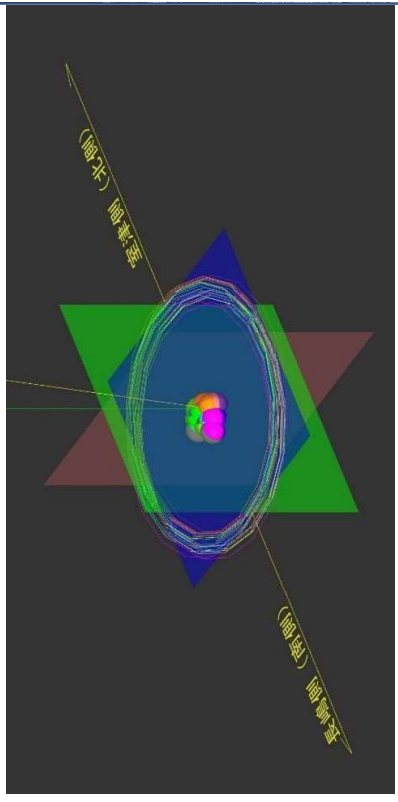
【P2橋脚部】



【P2-1】球体；半径5mm, 外円；半径50mm



【P2-2】球体；半径5mm, 外円；半径50mm



## 補強・補修工事図面

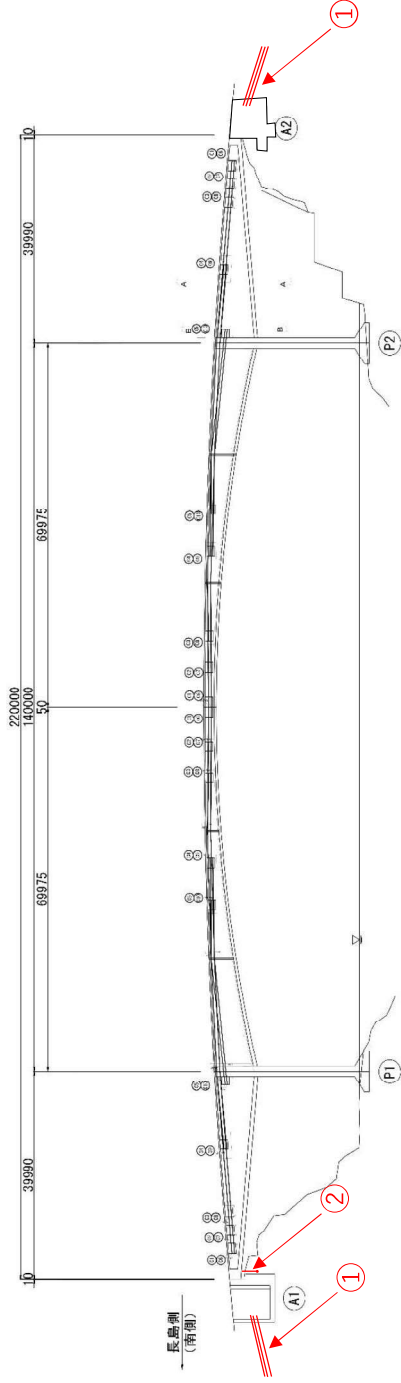
維持管理経緯(H17年度以降の経緯一覧)

年度	内容	概要
H17	耐震補強の調査・設計 ドブルック鋼棒の目視調査(A1)	調査時に両橋台にドブルック鋼棒の非破壊調査を実施し、A1側鋼棒の破断を確認(A2側は破断見られず) ウォータージェットによる豎壁前面のはつり
H18	負反力PC鋼材補強(A1) グラウンドアンカー補強(A1・A2東側)	橋台前面に破断鋼棒を補完する縦縮PC鋼材を設置 レベル2地震動に対する橋台の移動対策
H19	橋台-主桁連結工(A1・A2) グラウンドアンカー補強(A2西側)	レベル2地震動に対する主桁の移動対策 レベル2地震動に対する橋台の移動対策
H20	上部工補強修正設計	B活補強及びレベル2地震動対策の上部工修正設計
H20	上部工既設PC鋼棒補修 床版上面炭素繊維シート補強	B活補強に先立つ補修(継手・グラウト再注入) B活補強・歩道軽量化を併せて実施
H21	床版上面炭素繊維シート補強	B活補強・歩道軽量化を併せて実施
H21 ~23	上部工外ケーブル補強 上部工炭素繊維シート補強 中央径間下床版Con増厚補強	B活補強及びレベル2地震動対策・桁補修を併せて実施
H23	遠望目視点検	
H24	上部工既設PC鋼棒補修 橋脚炭素繊維シート補強 伸縮装置取替(A1・A2)	斜鋼棒のPCグラウト再注入・剥離防止工を併せて実施 レベル2地震動対策・橋台と橋脚の補修を併せて実施 A1側:2回目、A2側:1回目
H29	近接目視点検	法令に基づく定期点検

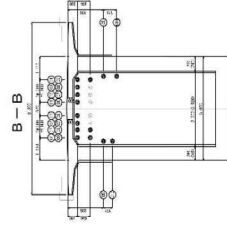
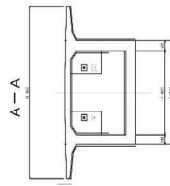
平成18年度

橋梁全体一般図

側面図 S=1:400



断面図 S=1:100



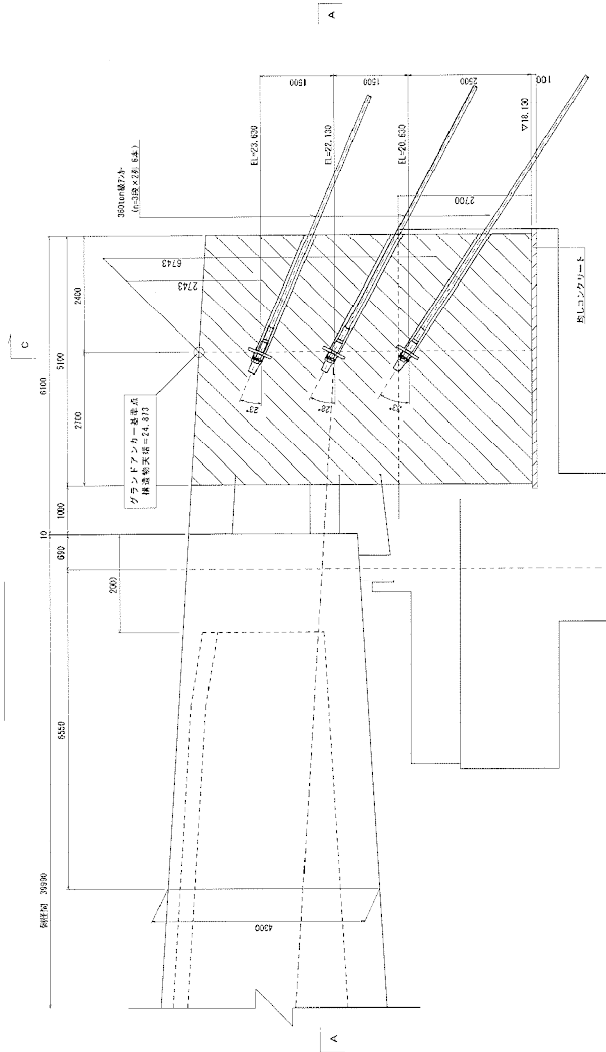
○ = 477-754-BMT (F20) 1821.1mm (0.6M70) 1.8 (4.5) 2.85 (0.15) 0.8 (0.2)  
 ○ = 477-754-BMT (F20) 1821.1mm (0.6M70) 1.8 (4.5) 2.85 (0.15) 0.8 (0.2)  
 ○ = 477-754-BMT (F20) 1821.1mm (0.6M70) 1.8 (4.5) 2.85 (0.15) 0.8 (0.2)  
 ○ = 477-754-BMT (F20) 1821.1mm (0.6M70) 1.8 (4.5) 2.85 (0.15) 0.8 (0.2)

平成18年度 施工概要  
 ①グラウンドアンカー工:18本  
 ②負反力鋼棒補強:4本

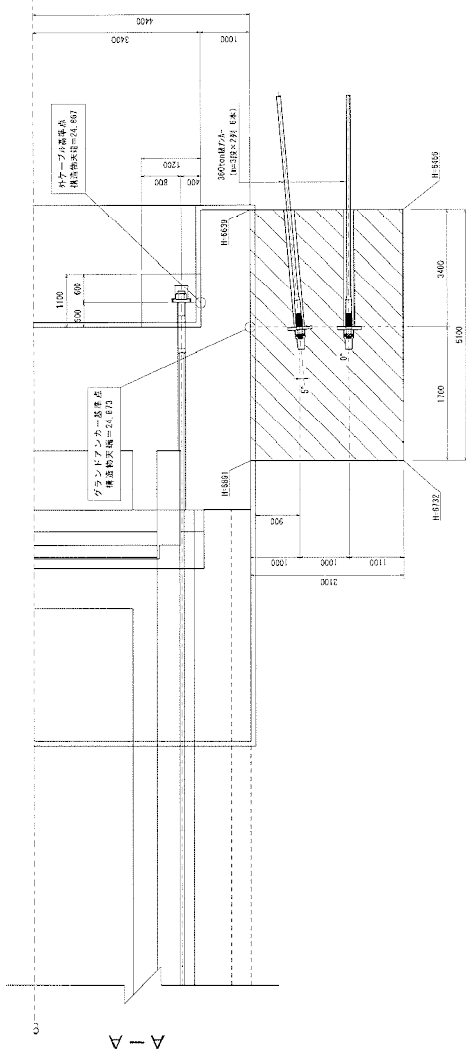


室津側橋台補強PC鋼材配置図(その4)～東側～

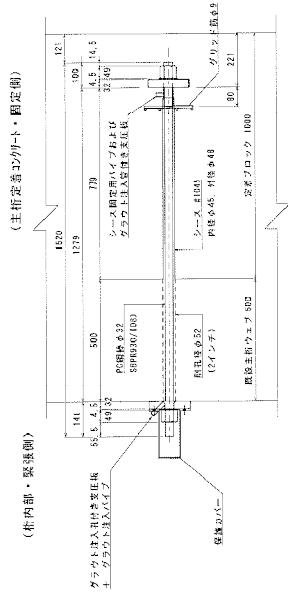
側面図 S=1:50



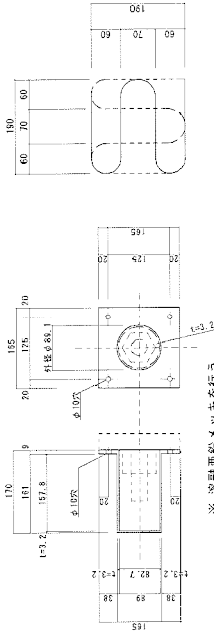
平面図 S=1:50



PC鋼棒詳細図 S=1:10



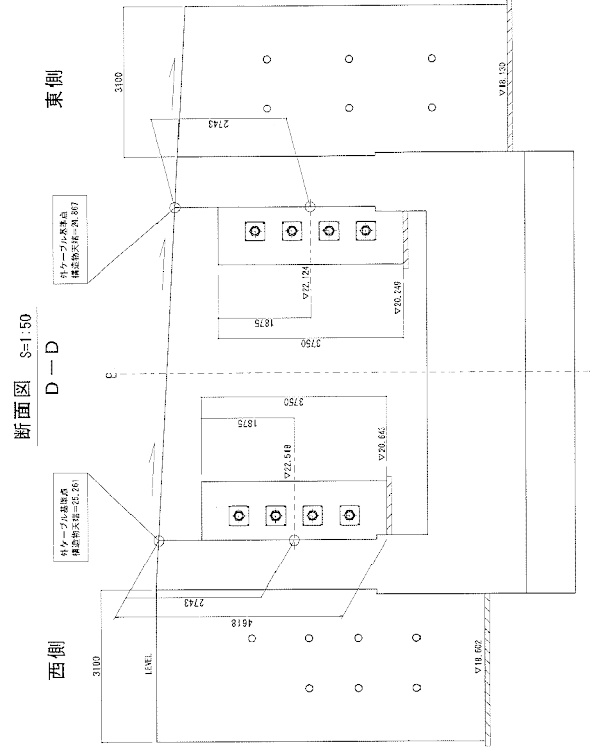
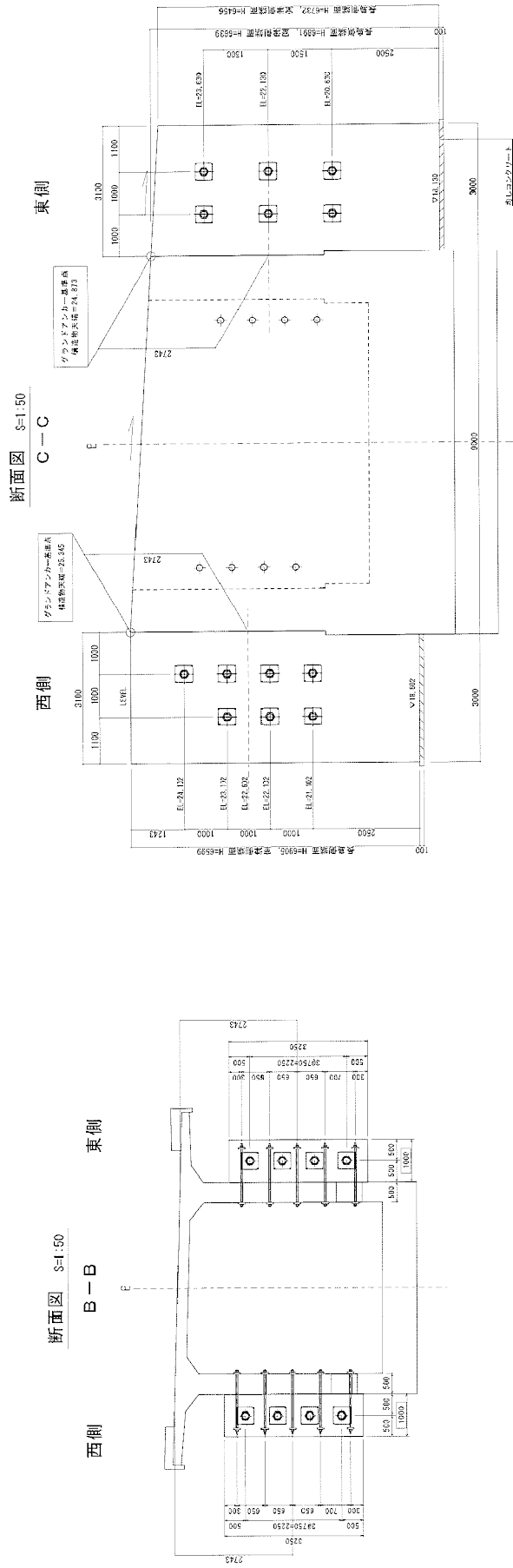
保護カバー (SS400) S=1:5 グリッド筋φ9 (SR235) S=1:5



※ 溶融亜鉛メッキを行う

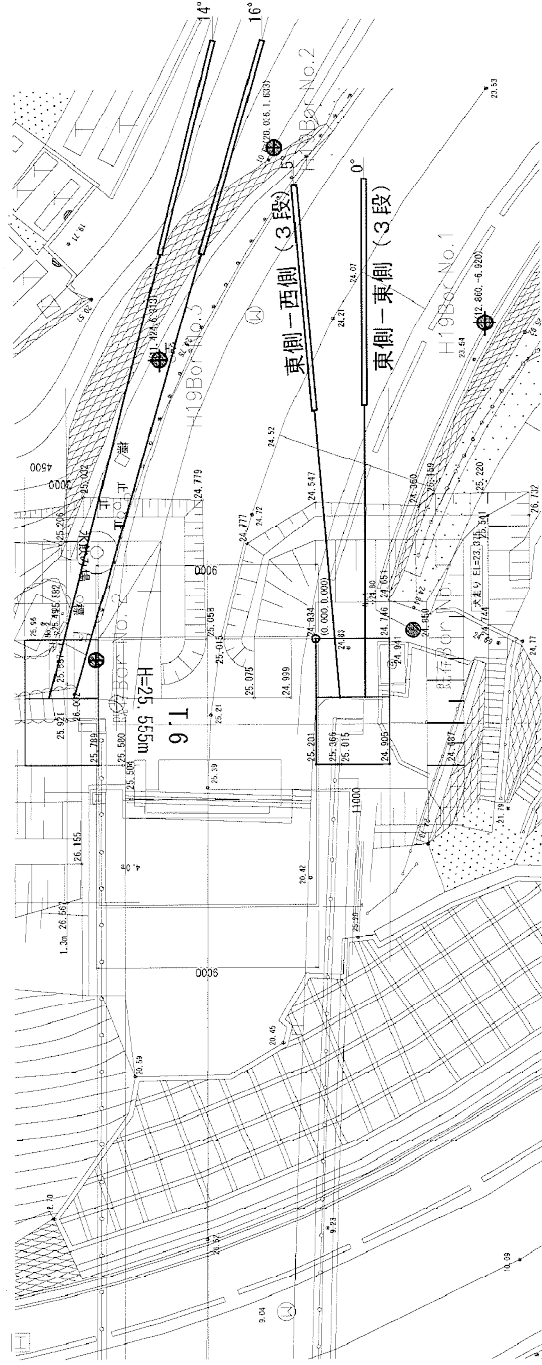
名称	規格・材質・寸法	単位	数量	備考
PC鋼棒・アット	φ32×1200mm SFRS30/108Z	根	25	
固定ワイヤ	φ3.2mm 185×185×2mm (スチール固定ワイヤおよびクランプ用ワイヤ)	根	25	
保護カバー	φ32mm 185×185×2mm (スチール固定ワイヤおよびクランプ用ワイヤ)	根	25	
グリッド筋	φ9 190mm (溶融亜鉛メッキ)	本	25	
保護ワイヤ	φ3.2mm 185×185×2mm (スチール固定ワイヤおよびクランプ用ワイヤ)	根	25	
グリッド筋	φ9 190mm (溶融亜鉛メッキ)	本	25	
クランプ	φ32mm×1200mm	個	1	

# 室津側橋台補強PC鋼材配置図(その5)



# 室津側グラウンドアンカー配置図 (その2) ~東側~

室津側 平面図

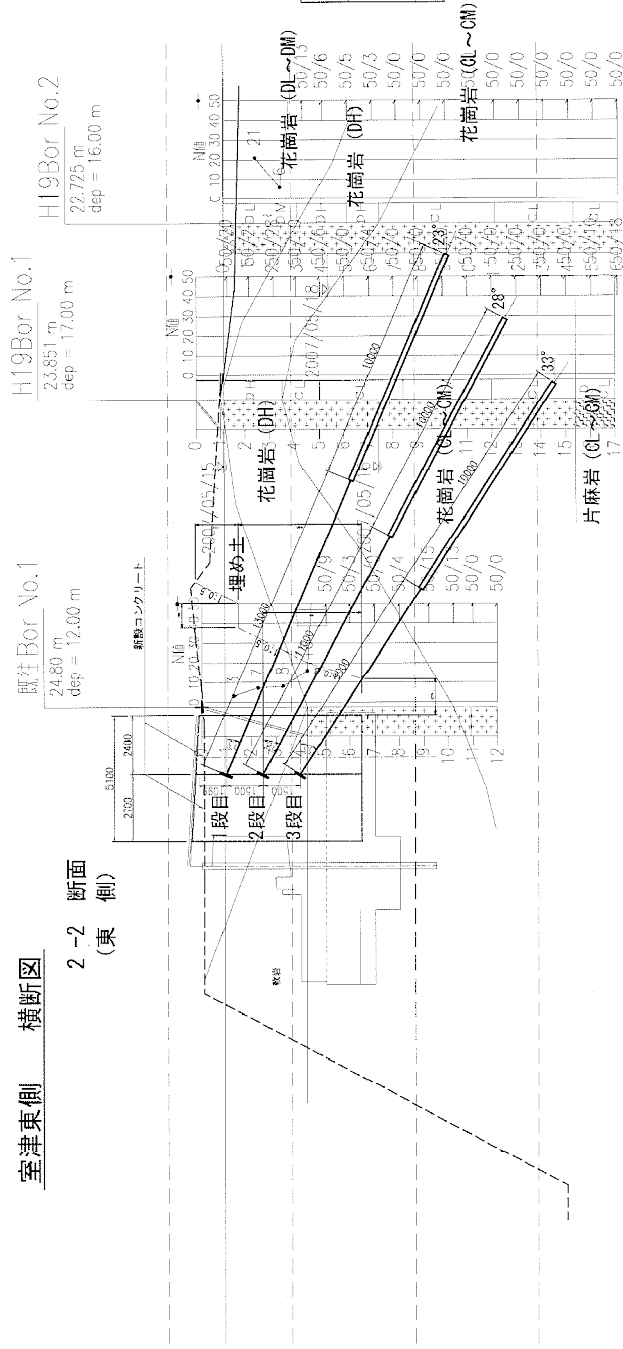


1-1 断面  
(西側)

2-2 断面  
(東側)

室津東側 横断面

2-2 断面  
(東側)



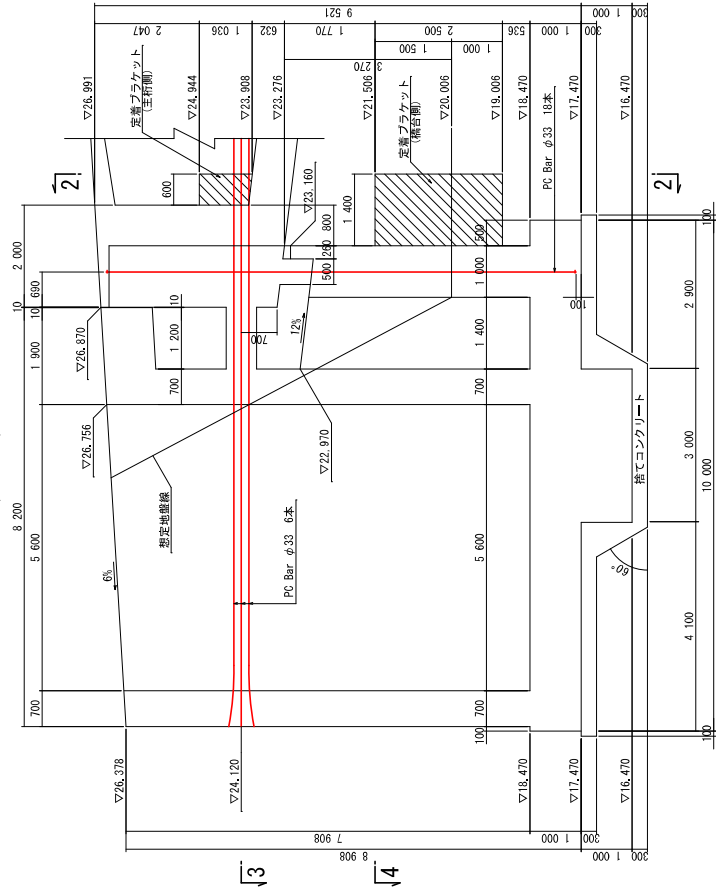
アンカー位置	基礎面方向長さ		根付長さ (斜長)		
	自由長 (m)	本体的自由長 (m)	自由長 (m)	斜長 (m)	
西側	1段目	12.95	9.95	5.0	13.0
	2段目	10.15	9.95	5.0	11.0
	3段目	8.17	9.95	5.0	10.0
東側	1段目	13.00	10.00	0.0	13.0
	2段目	11.00	10.00	0.0	11.0
	3段目	9.00	10.00	0.0	9.0

※詳細図におけるアンカー長は斜長表示 (斜長) を示す。

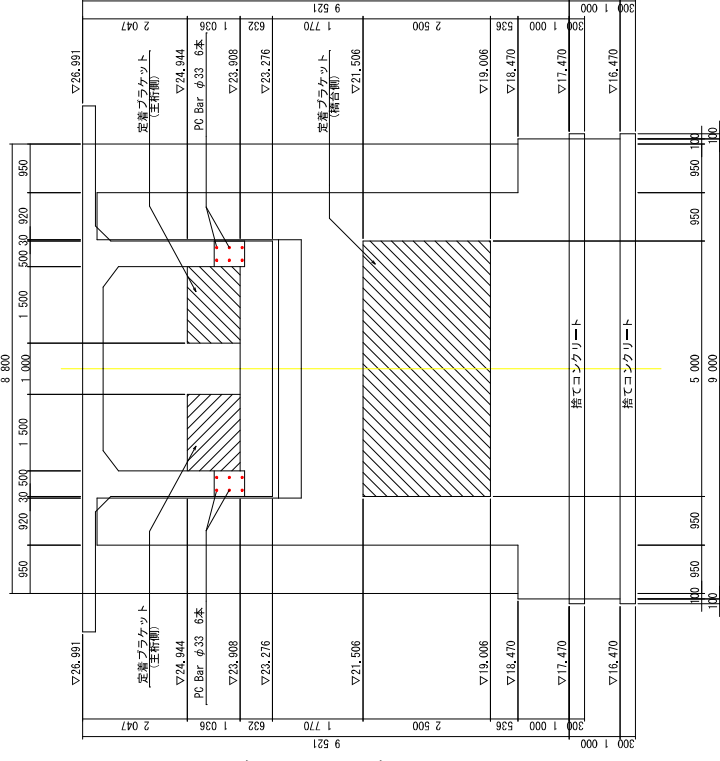
施工の別	緊急工事
竣工年度	平成 18 年度
道路名称	主要幹道 光上階級
緊急地方道路整備	橋梁補修工事
施工場所	熊毛郡 上関町 室津
図 種	長島側橋台応急対策工図(その1)
縮 尺	
図面番号	全 4 葉の内 1 葉
山 口 県	

# 長島側橋台応急対策工図(その1) (構造一般図)

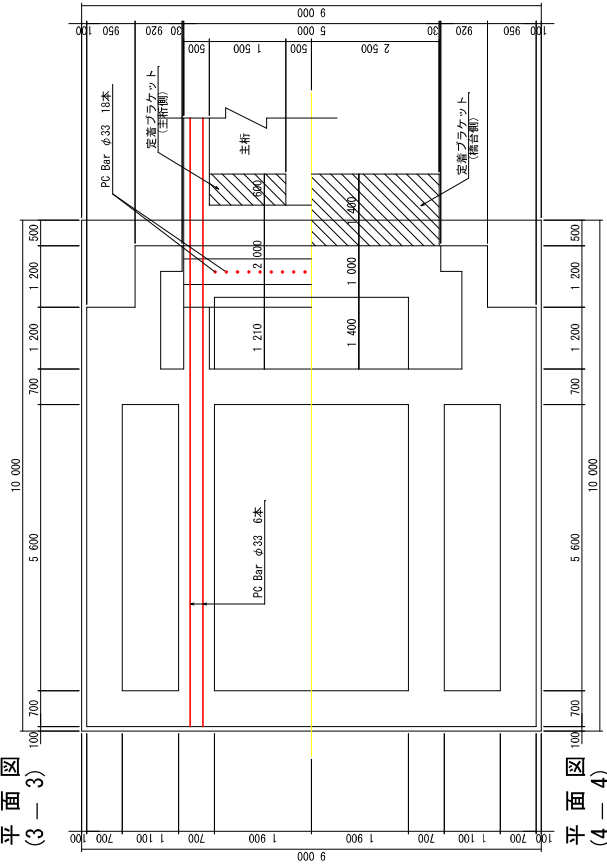
側面図  
(1-1)



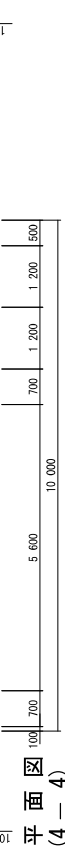
正面図  
(2-2)



平面図  
(3-3)



平面図  
(4-4)



S=1:50

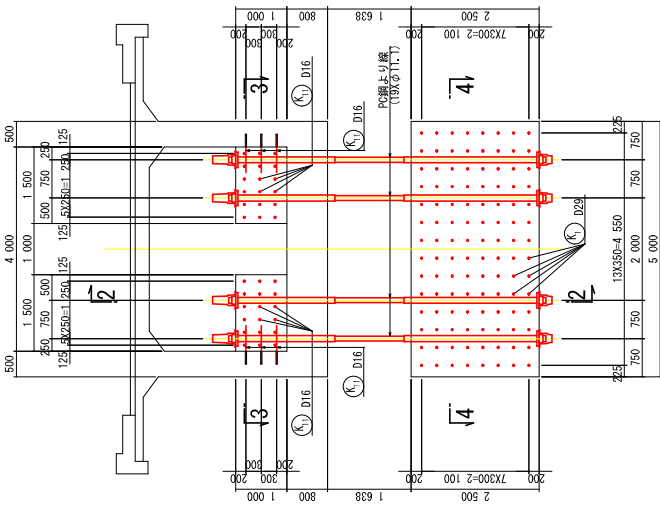
竣工の別	緊急
竣工年度	平成 18 年度
道路名称	主要国道 光上開路
緊急地方道路整備	橋梁補修工事
施工場所	熊毛郡 上野町 変津
図種	長島側橋台応急対策工図(その2)
縮尺	
図面番号	全 4 葉の内 2 葉
山口県	

# 長島側橋台応急対策工図(その2) (アンカー筋配置図)

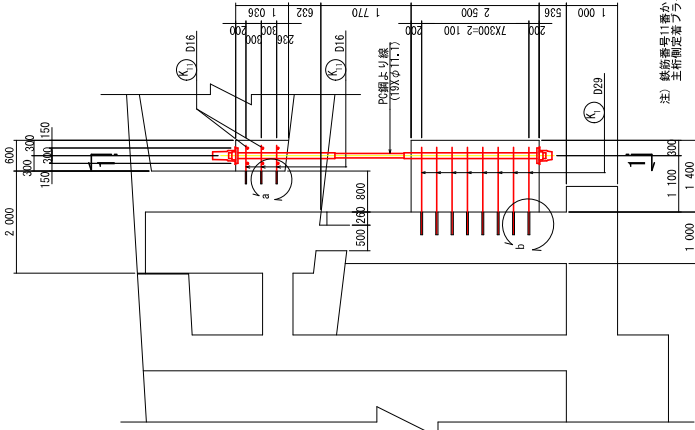
補強ケーブル構造図(270t f 用)  
(全4本)

S=1:50

正面図  
(1-1)

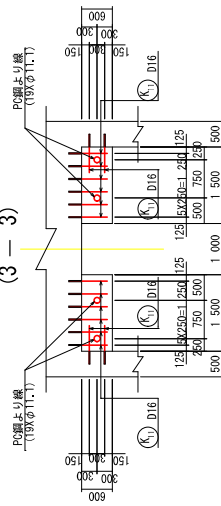


側面図  
(2-2)

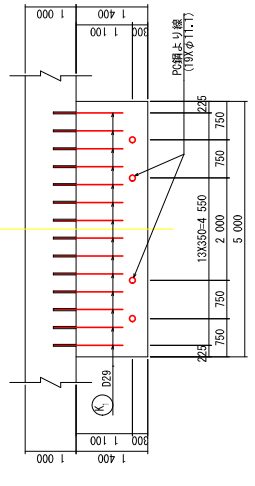


注) 鉄筋番号11番からの鉄筋は、主桁筋定着部ラケット部の鉄筋を示す。

平面図  
(3-3)

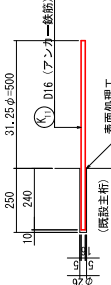


平面図  
(4-4)

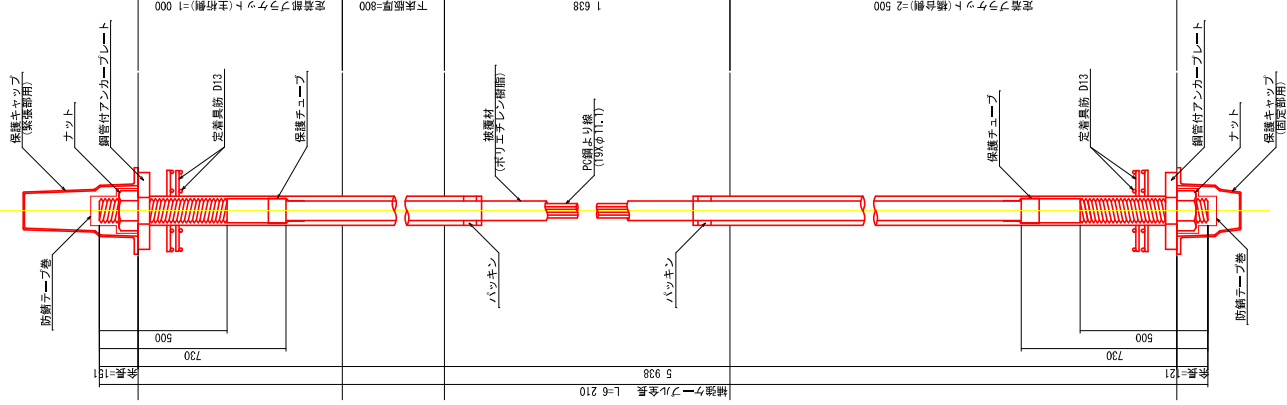
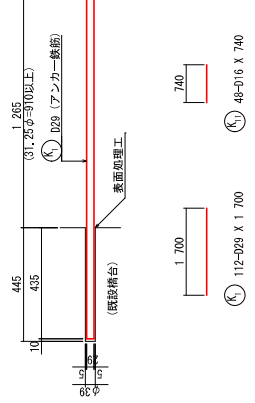


樹脂アンカー詳細図 S=1:10

a部詳細図



b部詳細図

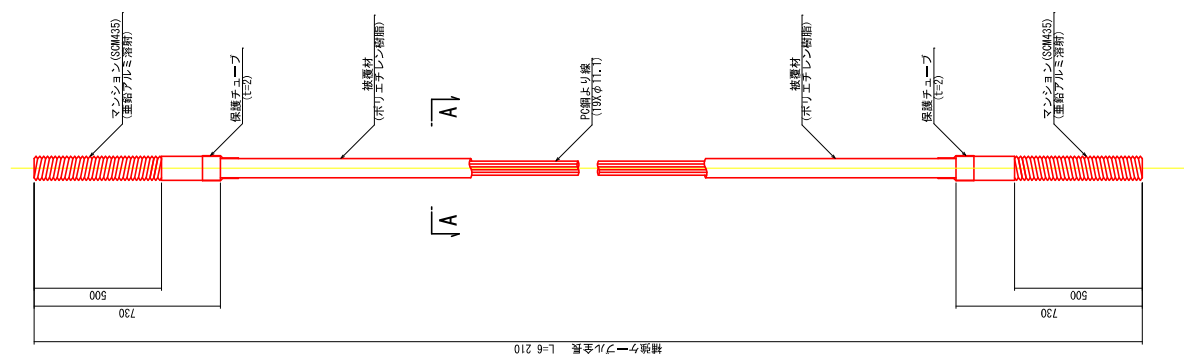


S=1:10

竣工の別	緊急
竣工年度	平成 18 年度
道路名	主要幹道 米上町線
緊急地方道路整備	橋梁補修工事
施工場所	熊毛郡 上野町 並津
図 種	長島側橋台応急対策工図(その3)
縮 尺	全 4 葉の内 3 葉
図面番号	山 口 県

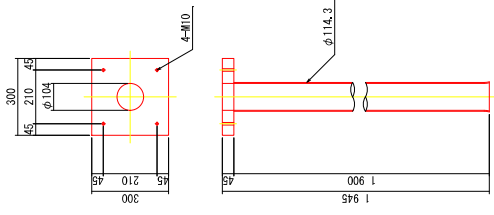
# 長島側橋台応急対策工図(その3) (補強ケーブル詳細図)

## 補強ケーブル(270 t f 用) S=1:10

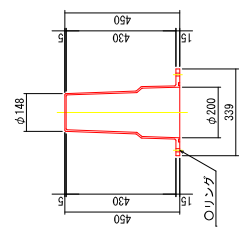


## 緊張部用鋼管付アンカープレート (アルミキャップ用) S=1:10

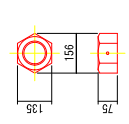
(SS400, STK400相当品: HDZ55)



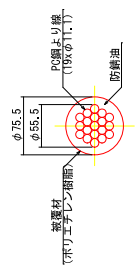
## 緊張部用保護キャップ (アルミニウム) S=1:10



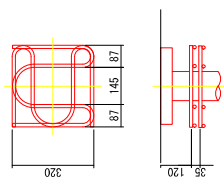
## ナット (S45C: HDZ55) S=1:10



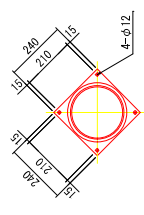
## A-A断面図 S=1:3



## 定着具筋 (SD295 D13 L=2X1465) S=1:10

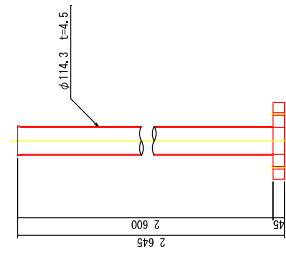


## 固定部用保護キャップ (アルミニウム) S=1:10

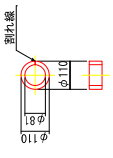


## 固定部用鋼管付アンカープレート (アルミキャップ用) S=1:10

(SS400, STK400相当品: HDZ55)



## パッキン (クロブレンスボンジ) S=1:10



## 材料表 (補強ケーブル構造 1組当たり)

名 称	規 格 ・ 材 質 ・ 寸 法	単 位	数 量	備 考
補強ケーブル	270t用 19xφ11.1 (SNP70L) L=6 210	本	1	ポリエチレン樹脂 引込ボルト付 インナーボルト付
マンション	SM435 アルミ重防錆射 L=730 (ねじ切り500)	本	2	
ナット	S45C HDZ55	個	2	
緊張部用鋼管付アンカープレート	270t用 SS400 STK400相当品 HDZ55 L=1 900	個	1	架張側
固定部用鋼管付アンカープレート	270t用 SS400 STK400相当品 HDZ55 L=2 600	個	1	固定側
定着具筋	270t用 SD295 D13 L=2x1465/根	組	4	
緊張部用保護キャップ	270t用 AC4C L=450	個	1	架張側
固定部用保護キャップ	M10 HDZ35 L=30 SM板/本付	個	8	固定側
保護キャップ取付ボルト	270t用 クロブレンスボンジ φ110 t=50	組	2	
パッキン	テンソーケーブル B=100 L=100/巻	巻	1	

全 4 組

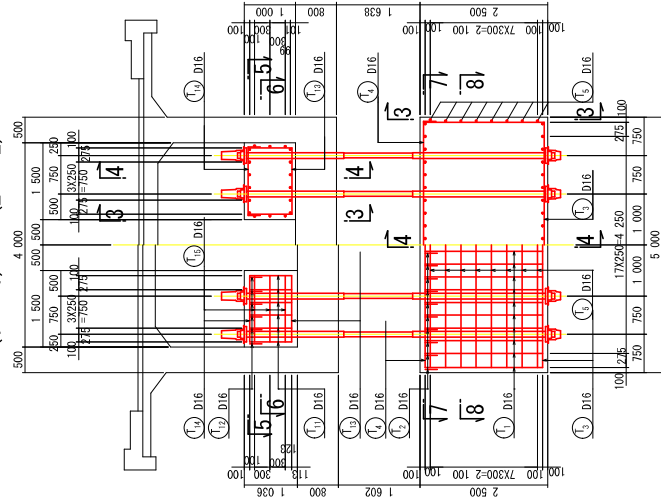
補強ケーブル全長 L=6 210

発注の別	
発注年度	平成 18 年度
発注者	主要幹道 光上園線
緊急地方道路整備	橋梁補修工事
発注場所	熊本県 上関町 壱津
図 種	長島側橋台応急対策工図(その4)
縮 尺	
図面番号	全 4 葉の内 4 葉
山 口 県	

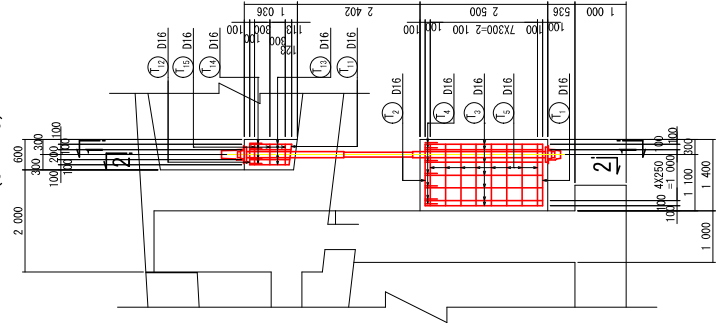
# 長島側橋台応急対策工図(その4)

S=1:50

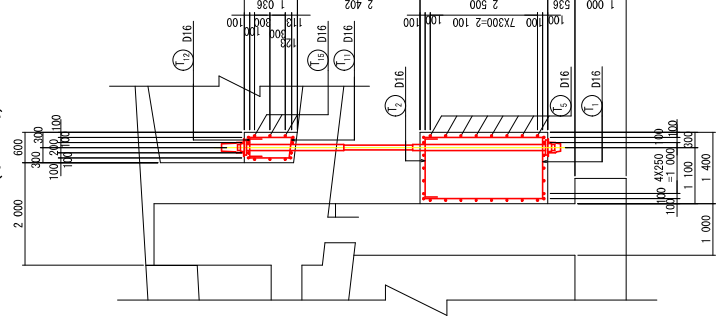
正面図 (2-2)



側面図 (3-3)



側面図 (4-4)



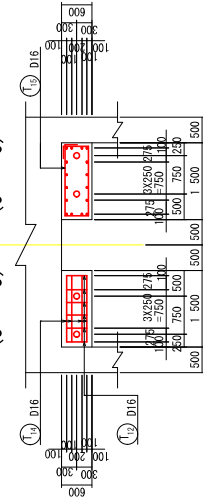
鉄筋質量表 (橋台側定着ブラケット)

記号	径	長さ	本数	単位質量	本当り質量	質量	備 考	
K 1	D29	1 700	112	5.04	8.57	960	—	
T 1	D16	5 800	20	1.56	9.05	181	U	
T 2	"	1 600	20	"	2.62	52	"	
T 3	"	9 400	7	"	14.76	103	"	
T 4	"	5 200	7	"	8.24	58	"	
T 5	"	6 540	16	"	10.20	163	"	
合 計 D29							960 kg	
D16							557 kg	
総質量							1 517 kg	

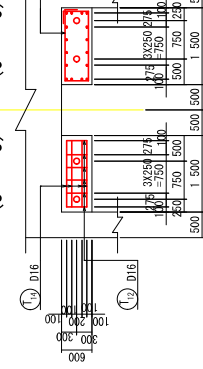
鉄筋質量表 (主桁側定着ブラケット)

記号	径	長さ	本数	単位質量	本当り質量	質量	備 考	
K 11	D16	740	48	1.56	1.15	55	—	
T 11	D16	2 000	12	1.56	3.12	37	U	
T 12	"	880	12	"	1.37	16	"	
T 13	"	2 960	8	"	4.62	37	平均値	
T 14	"	1 780	8	"	2.78	22	"	
T 15	"	4 010	6	"	6.26	38	"	
合 計 D16							205 kg	
総質量							205 kg	

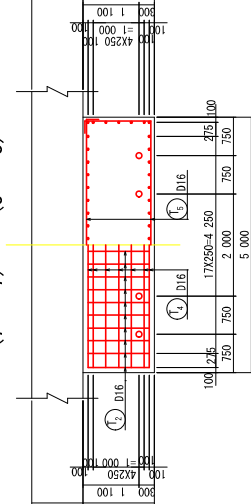
平面図 (5-5)



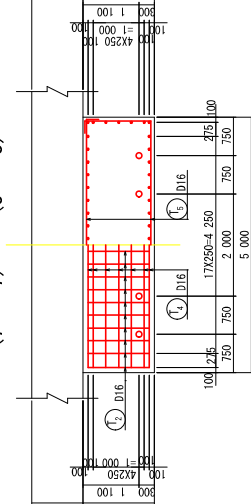
平面図 (6-6)



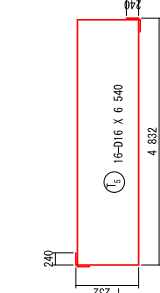
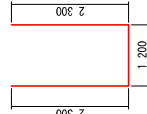
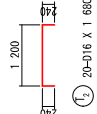
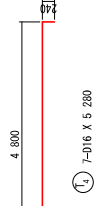
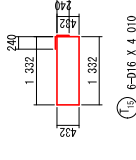
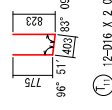
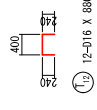
平面図 (7-7)



平面図 (8-8)



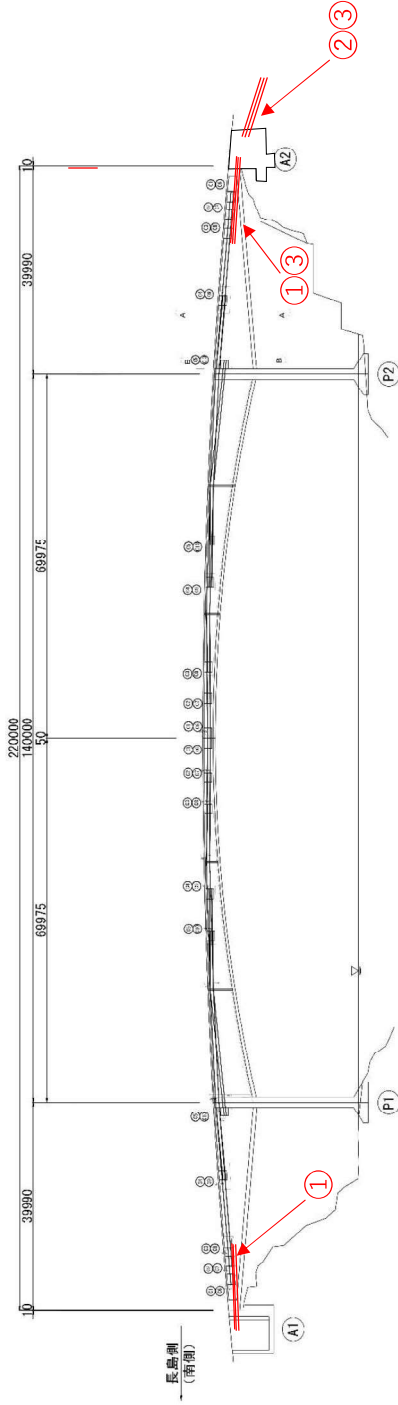
注：鉄筋番号11番からの鉄筋は、主桁側定着ブラケット部分の鉄筋を示す。



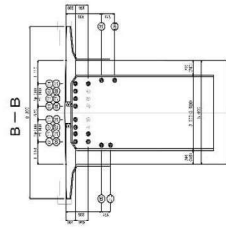
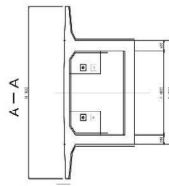
平成19年度

橋梁全体一般図

側面図 S=1:400



断面図 S=1:100



(A) = 977-754-BMT (720) 10211.1mm (0.00076) 1.4 (4.4) 20.5 (21050) 1000  
 (B) = 977-754-BMT (720) 10211.1mm (0.00076) 1.4 (4.4) 20.5 (21050) 1000  
 (C) = 977-754-BMT (720) 10211.1mm (0.00076) 1.4 (4.4) 20.5 (21050) 1000  
 (D) = 977-754-BMT (720) 10211.1mm (0.00076) 1.4 (4.4) 20.5 (21050) 1000

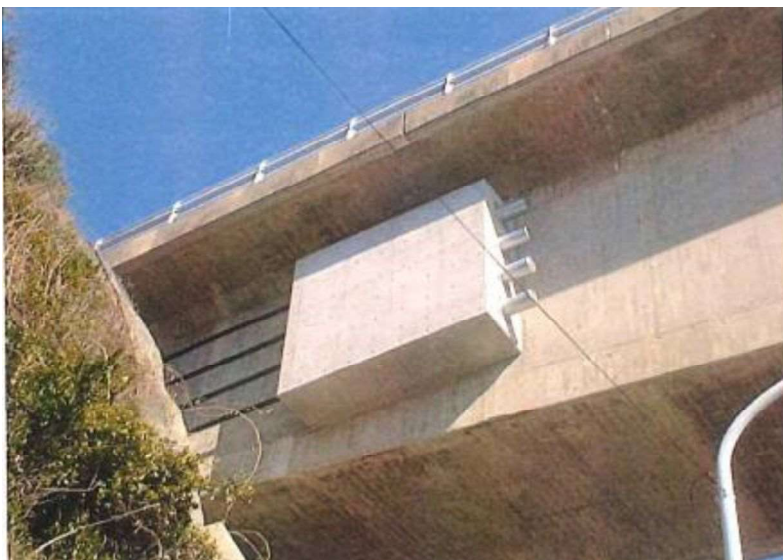
平成19年度 施工概要  
 ①主桁橋台連結工:16本  
 ②グラウンドアンカー工:7本  
 ③定着ブロック工:6基



①主桁橋台連結工(室津西側側面)



②主桁橋台連結工(室津東側)

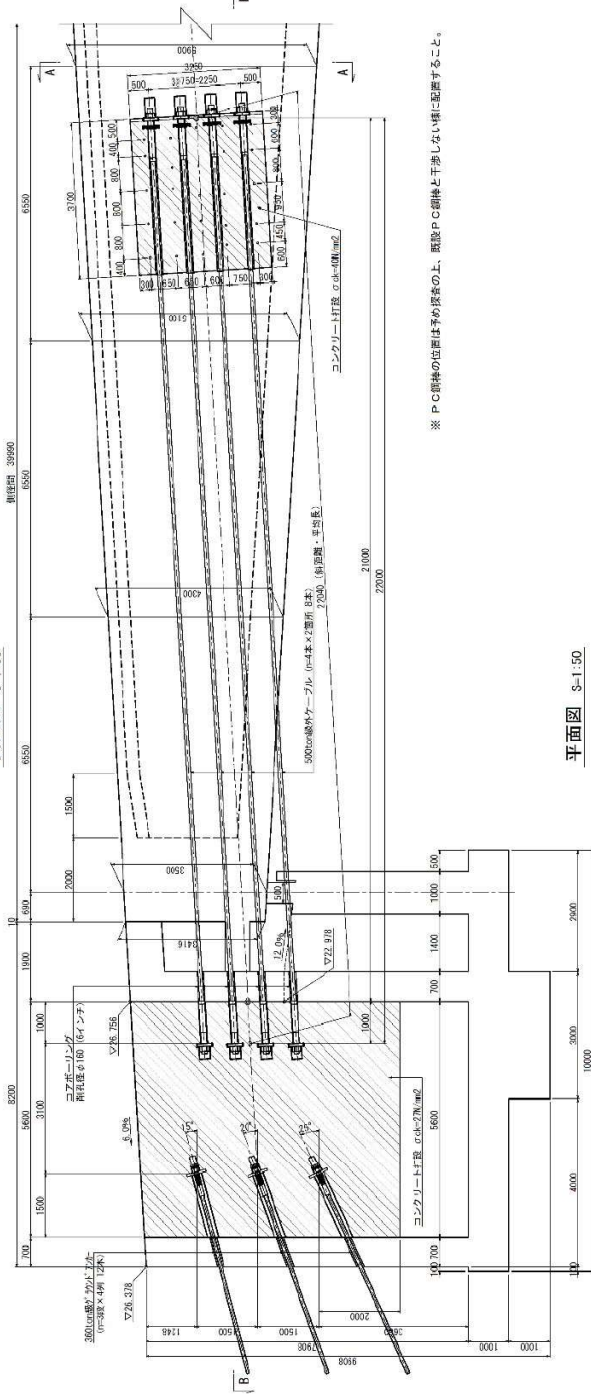


③グラウンドアンカー設置工



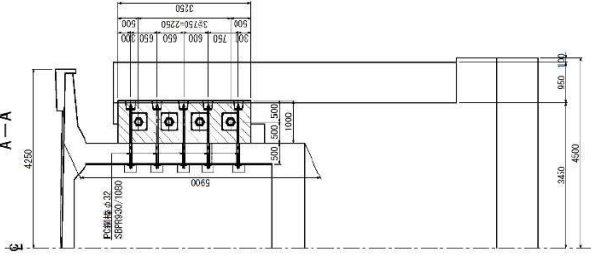
長島側橋台補強PC鋼材配置図

側面図 S=1:50

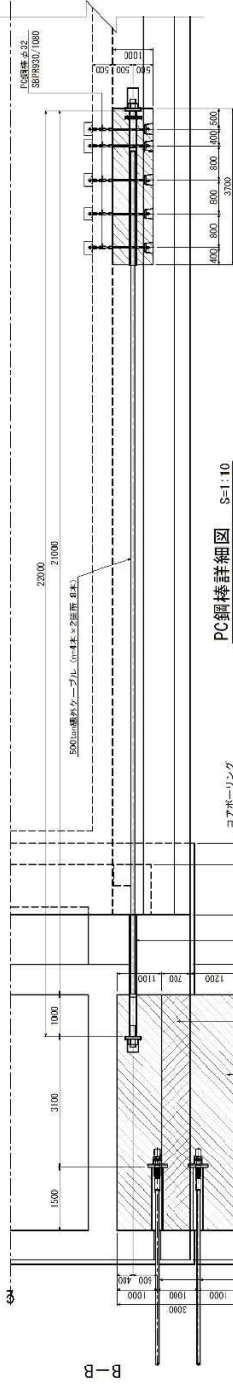


※ PC部側の位置は予め調査の上、既設PC部棒と干渉しない様に配置すること。

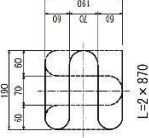
断面図 S=1:50



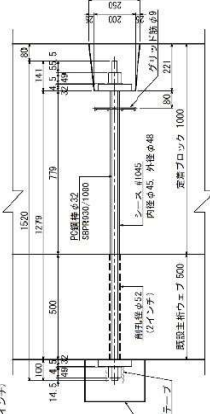
平面図 S=1:50



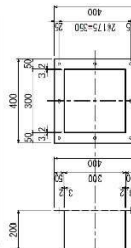
グリッド筋φ9 (SR235) S=1:5



PC鋼棒詳細図 S=1:10



保護カバー (SS400) S=1:10



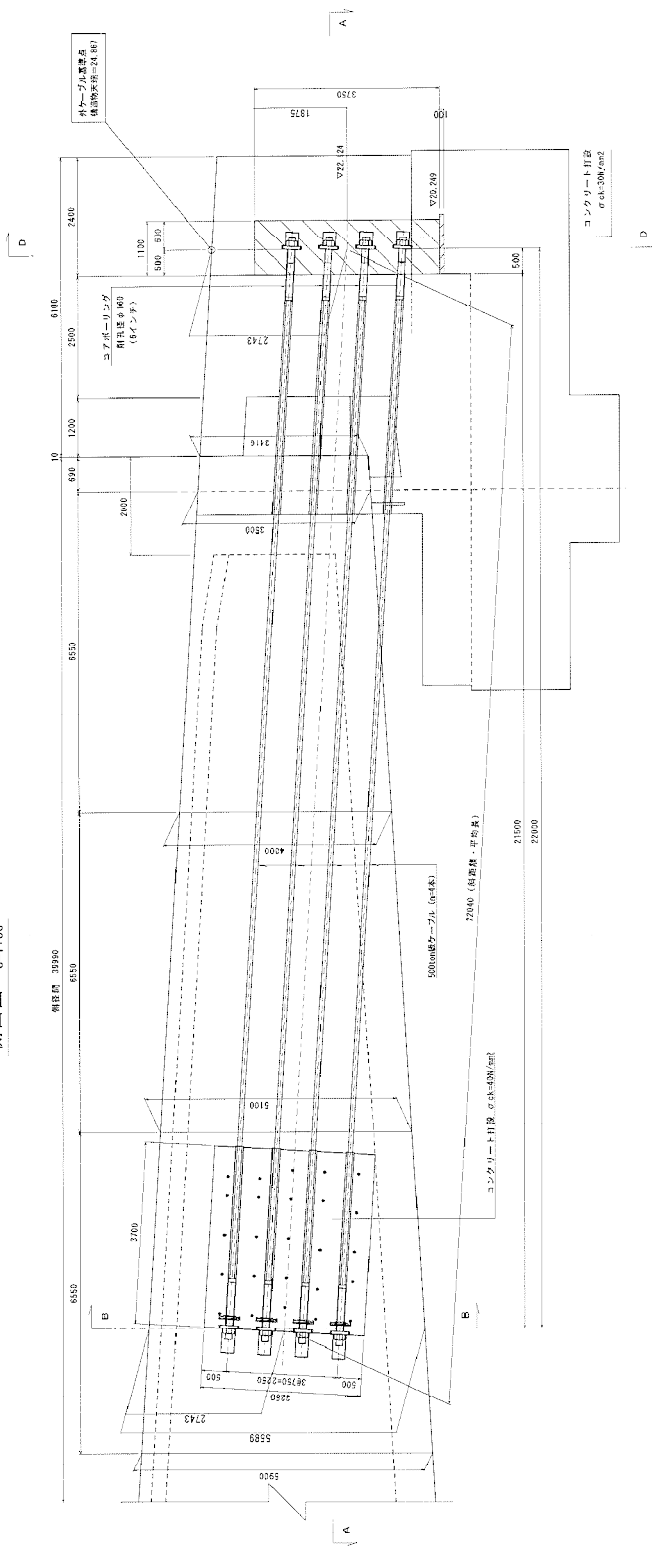
材料表

名称	仕様・材質・寸法	定額単価	備考
PC部部棒	φ25, 1520mm, SR235	360	
コンクリートコア	φ25, 1520mm, SR235	360	
グリッド	φ9, 235, L=784mm	12	
保護カバー	φ9, 235, L=784mm, SS400	25	
定額アンカー	φ25, 1520mm, L=1000mm	75	
防錆コーティング	φ25, 1520mm, L=1000mm	75	
防錆テープ	幅100mm, L=1000mm	1	

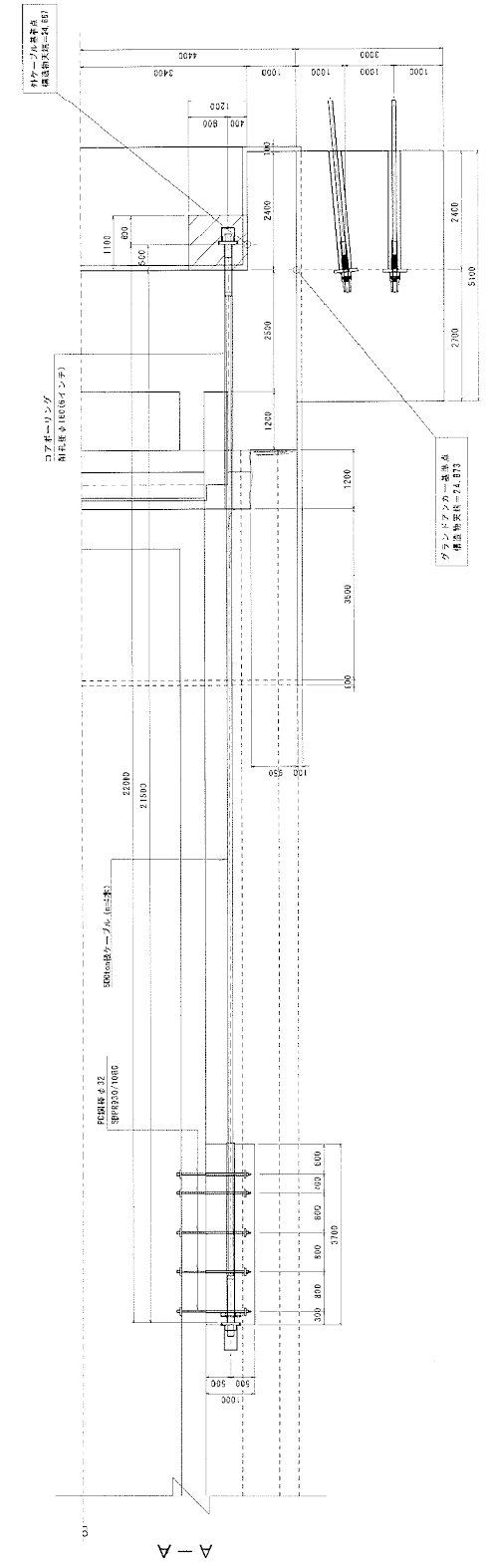


# 室津側橋台補強PC鋼材配置図(その3) ~ 東側 ~

側面図 S=1:50

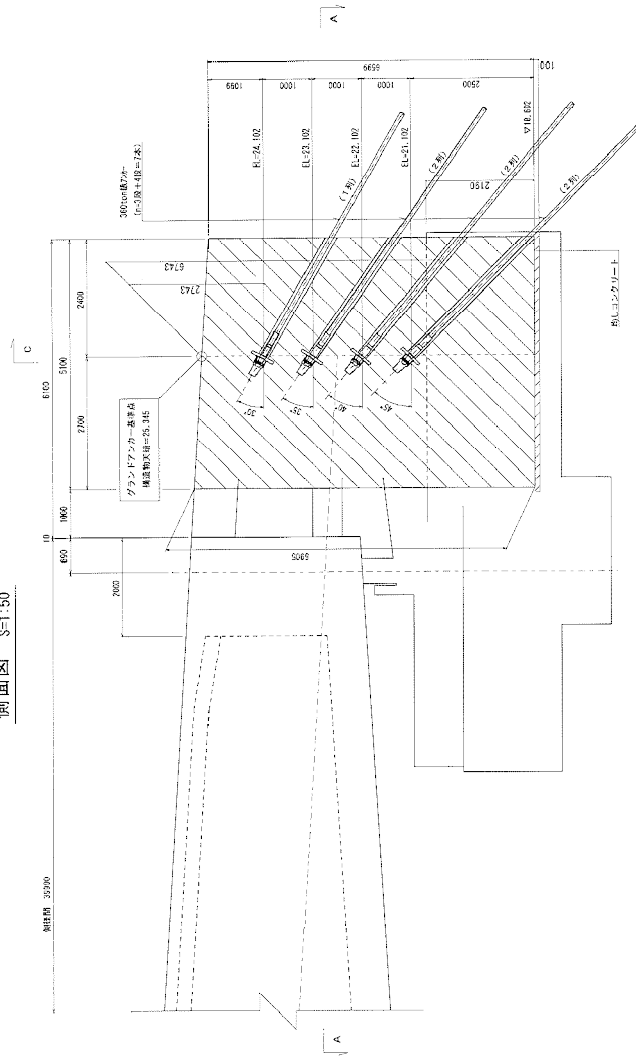


平面図 S=1:50

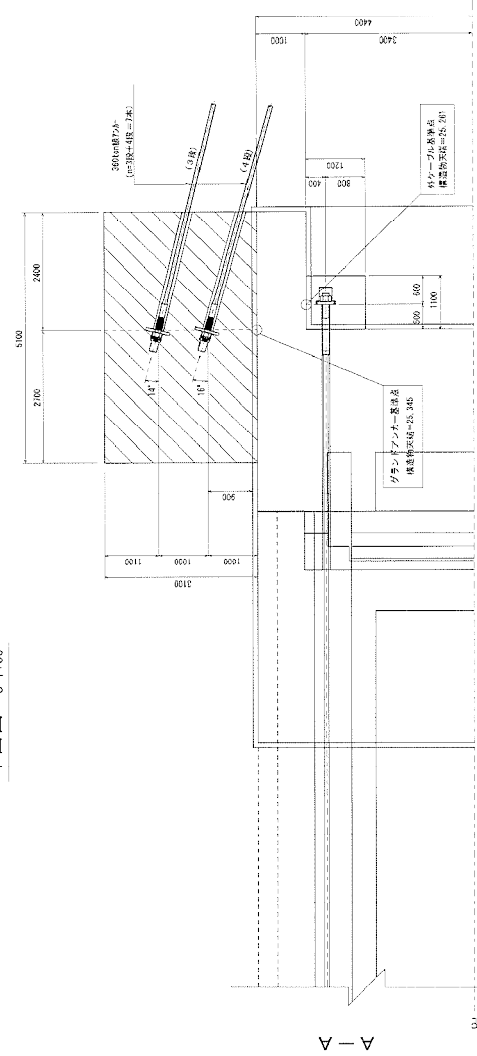


# 室津側橋台補強PC鋼材配置図(その2) ~ 西側 ~

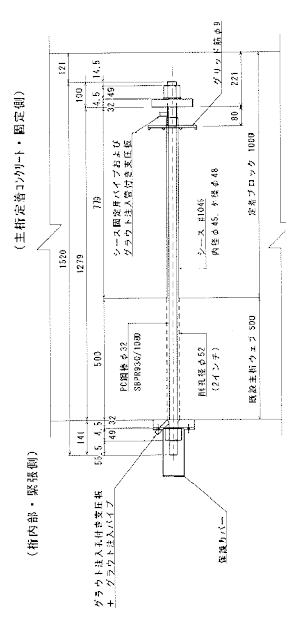
側面図 S=1:50



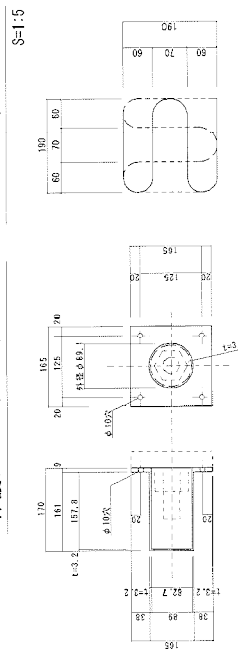
平面図 S=1:50



PC鋼棒詳細図 S=1:10



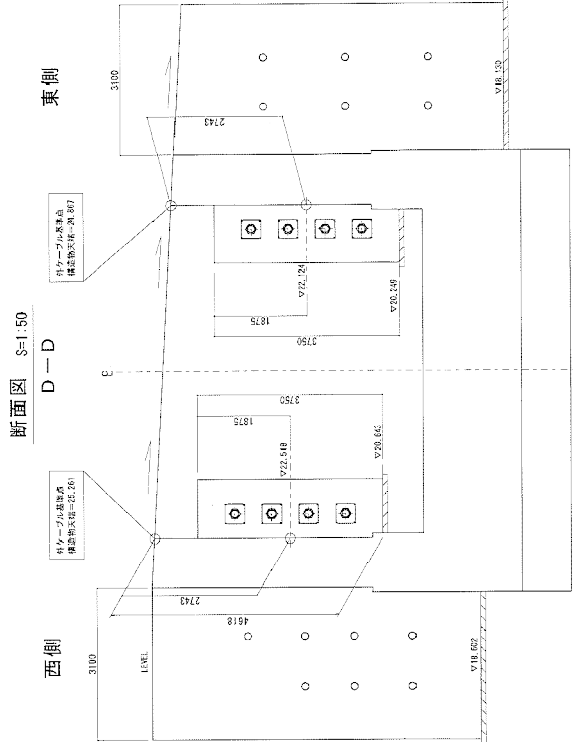
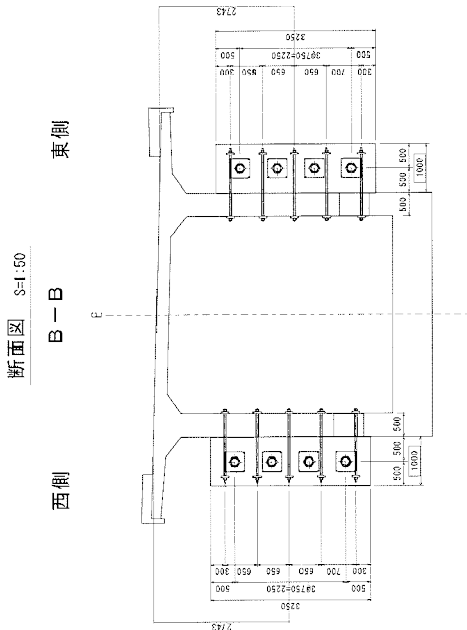
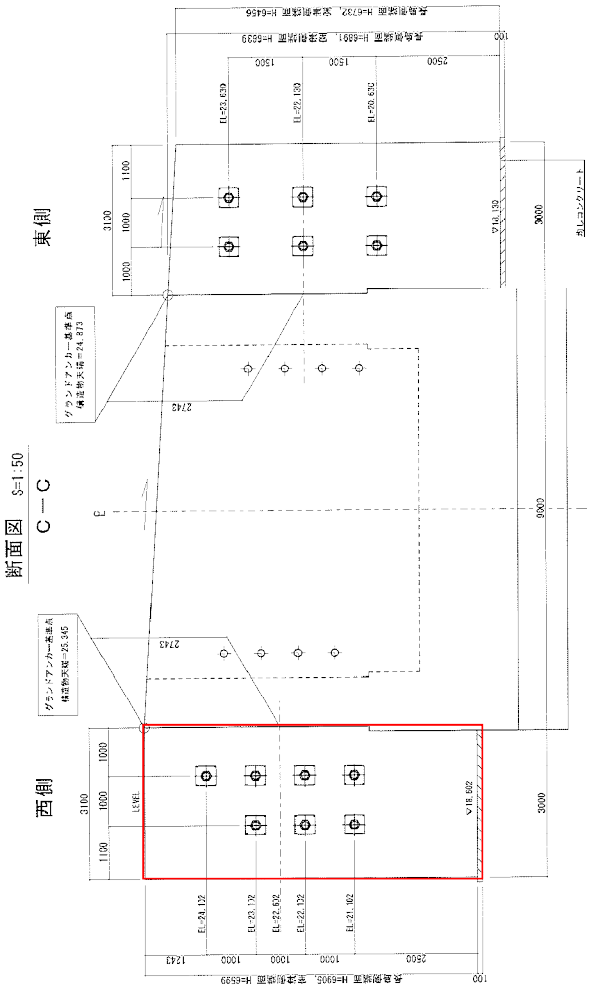
保護カバー (SS400) S=1:5



名称	規格・材質・寸法	単位	数量	備考
PC鋼棒コナット	φ32×1320mm SR9850/1000	個	25	
指内部保護板	φ32用 165×165×型 (シース固定用パイプおよびコナット挿入部と保護板)	枚	25	
緊張部保護板	φ32用 165×165×型 (コナット挿入部と保護板)	枚	25	
シース	φ325 内径φ46mm 外径φ48mm L1700mm	個	25	
保護カバー型直形部	3500 溶融亜鉛メッキ仕様 L=1700mm	個	25	
コナット蓋	φ9×φ120×φ7用	個	25	
指内部	チタンテープ H=600 L=1000用	巻	1	

基礎補強ブロック 1面照当り

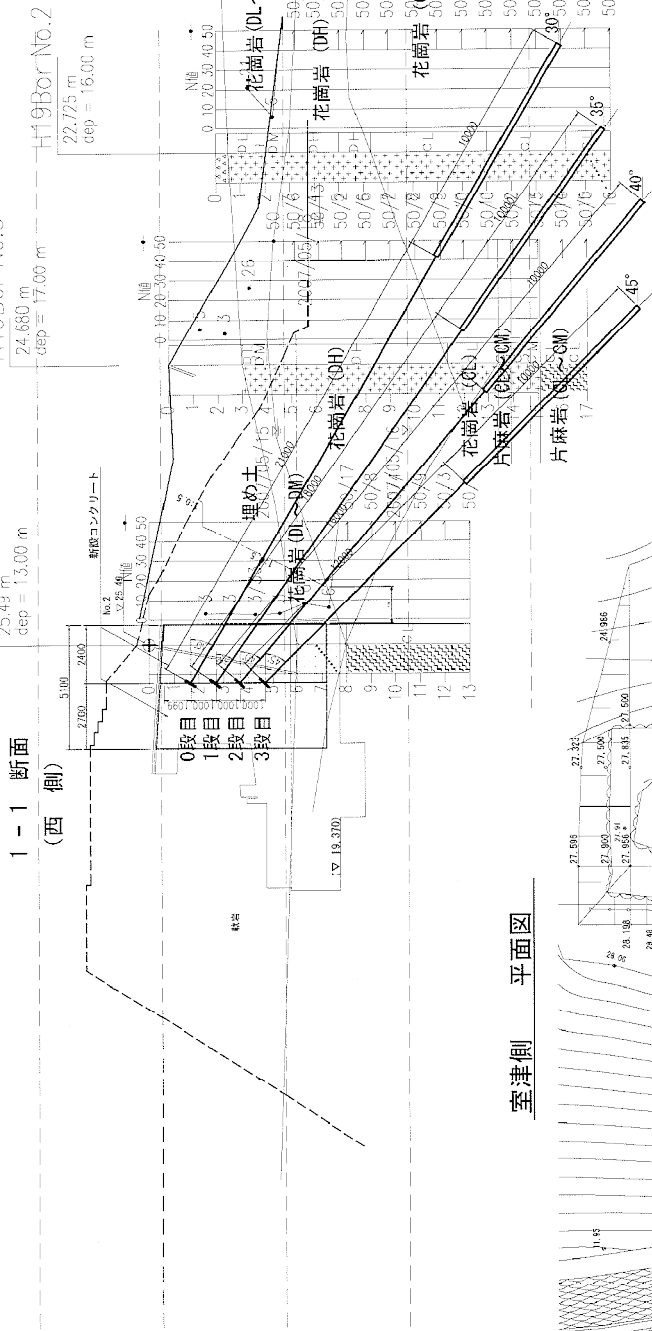
# 室津側橋台補強PC鋼材配置図(その5)



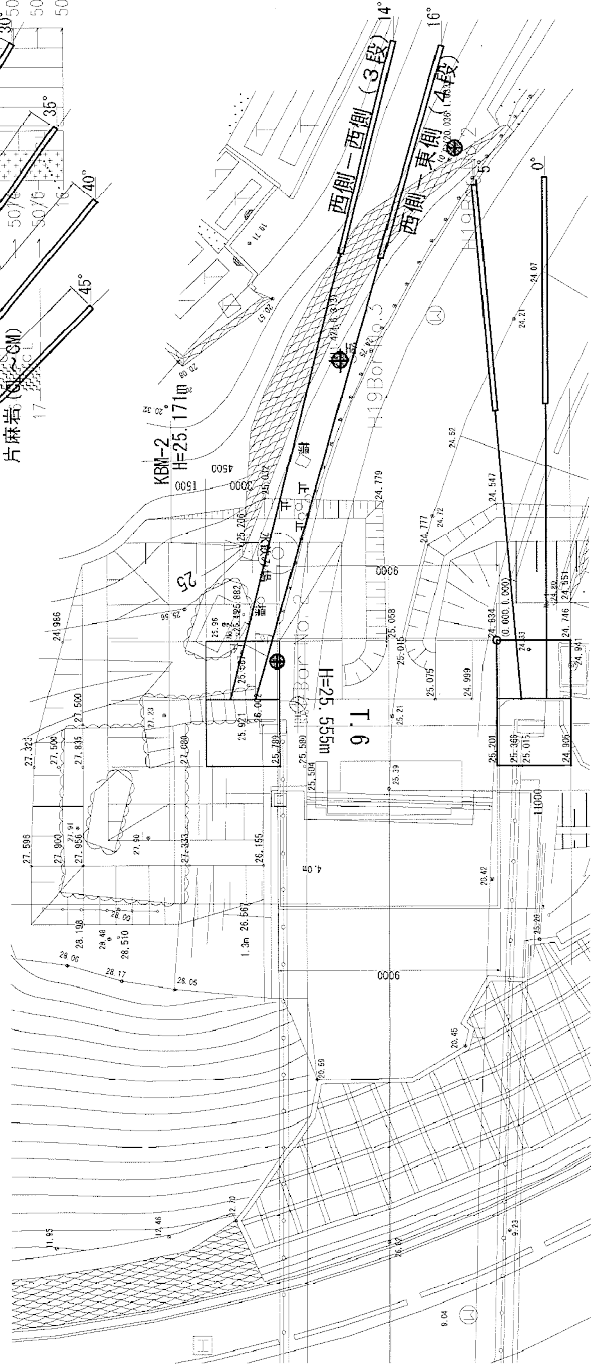


# 室津側グラウンドアンカー配置図 (その1) ~西側~

## 室津西側 横断面



## 室津側 平面図



2-2 断面 (東側)

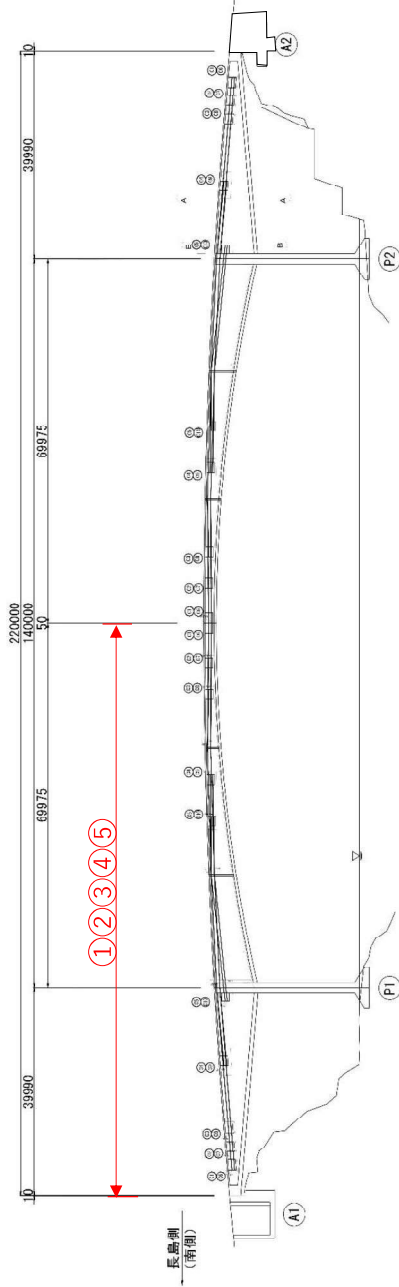
アンカー位置	材料区分別長さ			材料区分 (単位)		
	自由長 (m)	水中長 (m)	自由長 (m)	水中長 (m)	自由長 (m)	水中長 (m)
18段目	17.47	9.70	14.0	18.0	10.0	23.0
25段目	15.52	9.70	14.0	16.0	10.0	25.0
36段目	11.64	9.70	14.0	12.0	10.0	22.0
48段目	20.19	9.61	8.0	21.0	10.0	31.0
18段目	17.30	9.61	8.0	18.0	10.0	28.0
25段目	15.38	9.61	8.0	16.0	10.0	25.0
36段目	11.54	9.61	8.0	12.0	10.0	22.0

※材料印に付するアンカーは材料区分表 (別表) を示す。

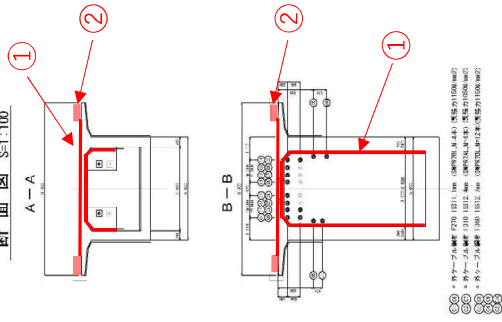
平成20年度

橋梁全体一般図

側面図 S=1:400



断面図 S=1:100

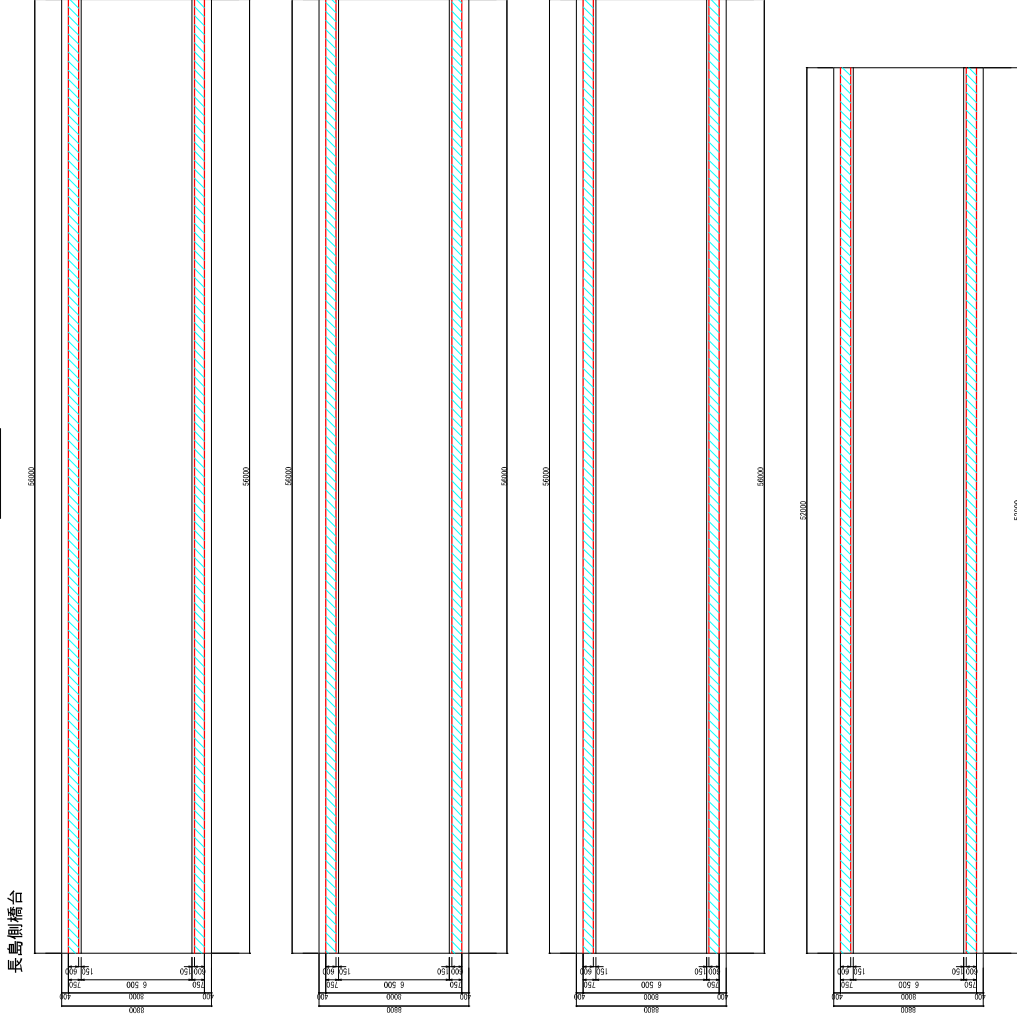


- 平成20年度 施工概要
- ① 繊維シート工：一式(床版上下面、桁壁面)
  - ② 歩道部中詰めEPS化：1式
  - ③ 主鋼棒継手補修工：1式
  - ④ 断面修復工：1式

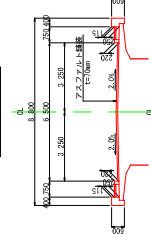


歩道中詰めEPS割付図 S=1:250

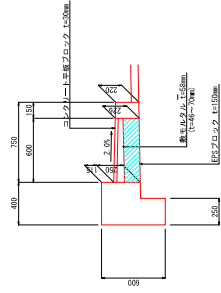
配置平面図



配置断面図



歩道部拡大図



EPSブロック形状図 (D-16:1組当)

ブロック：2000×600×150

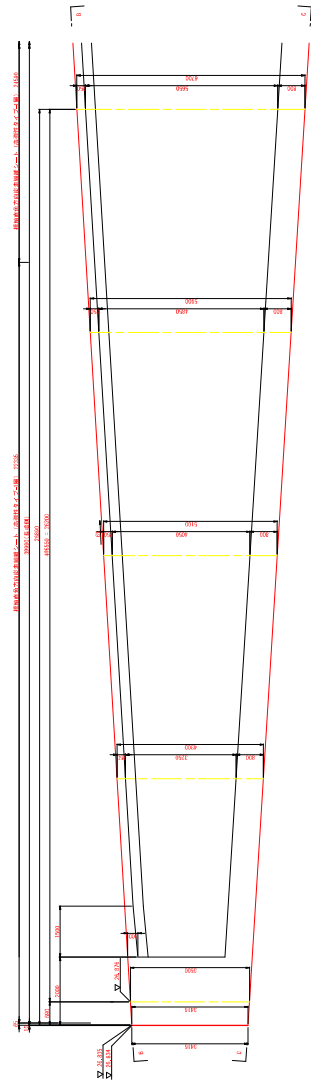


注) 株式会社コンクリートパートナーは、品質確保を目的とし、  
 スペーシングをすべて製造管理の基準  
 (ブロック割付の仕様が正しい施工すること)

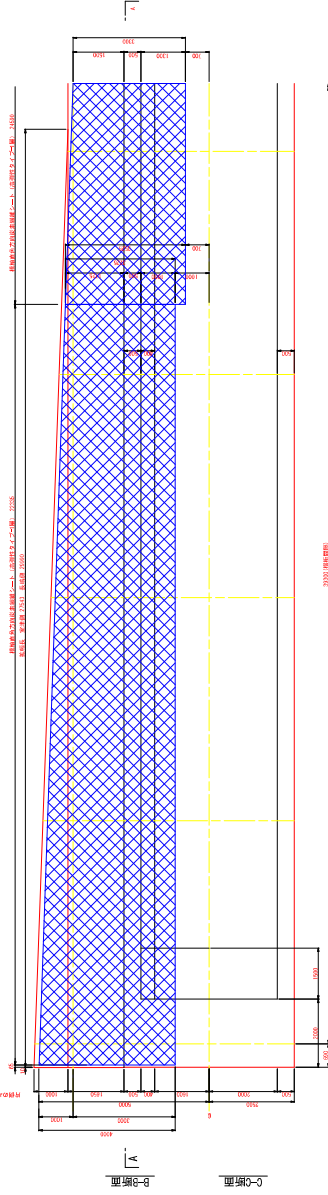
工事名	歩道中詰めEPS割付図
図番名	年度 年 月
作成日	図面番号 /
幅 尺	S=1:250
会社名	セントラルコンクリート株式会社
部署名	神戸土木営業事務所

# 床版上面繊維シート補強図 (その1) S=1:50

側面図  
大断面




平面図

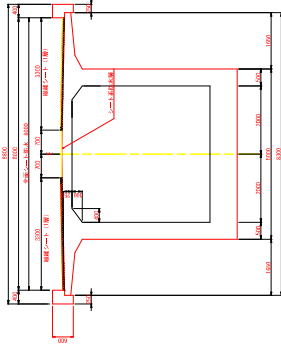


※ 図中のFRPシートは、

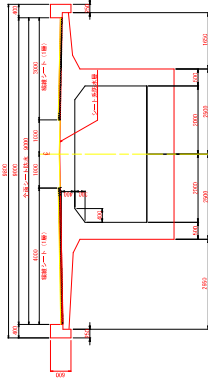
1) 本図面の範囲は概略から中央ヒンジまでは、実際の構造に際しては、中央ヒンジを介して両側にも補強が必要となる。

※  は炭素繊維シート1層による補強範囲を示す

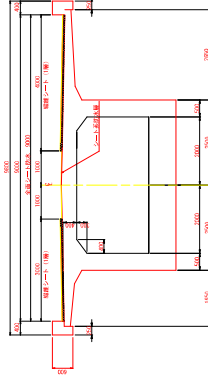
断面図  
標準断面図



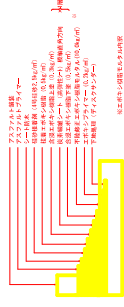
長辺側断面図



短辺側断面図



シート構成図  
1層構成



炭素繊維シート仕様表

品番	繊維径φ [mm]	繊維長 [mm]	繊維径φ [mm]	繊維長 [mm]
FRPシート用標準	300	1,300	5.4(1.0)*	55.0(1.0)

※ 炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

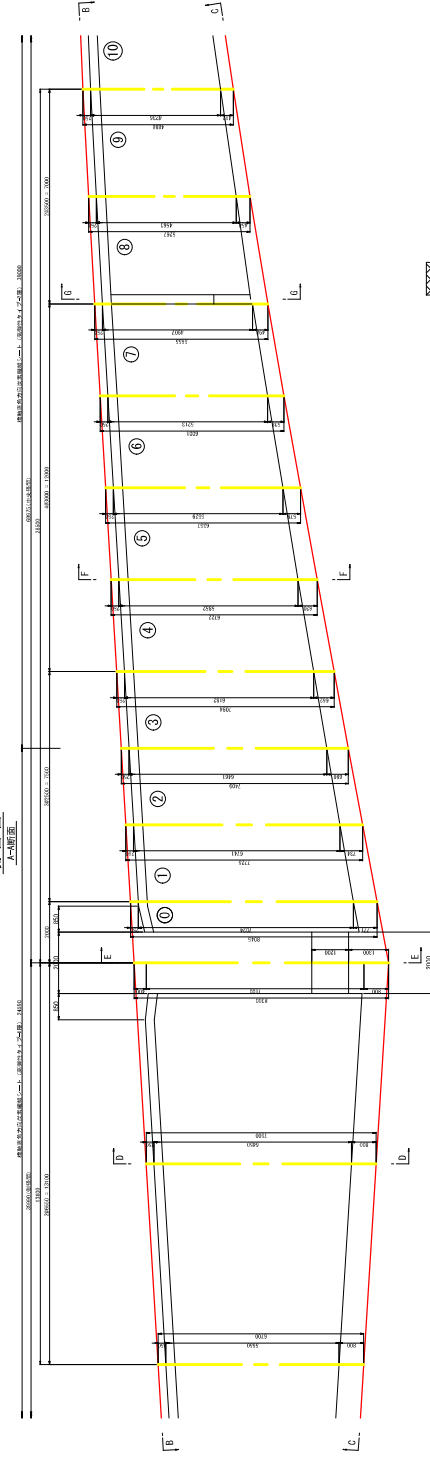
炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

炭素繊維シートは、

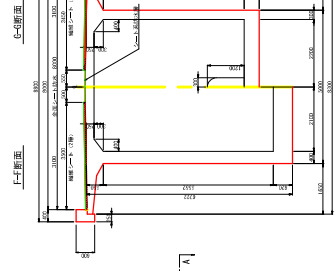
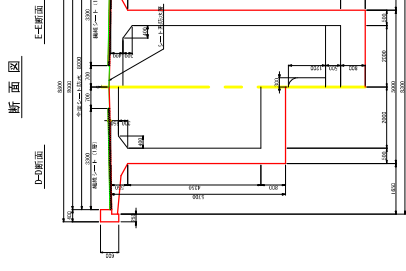
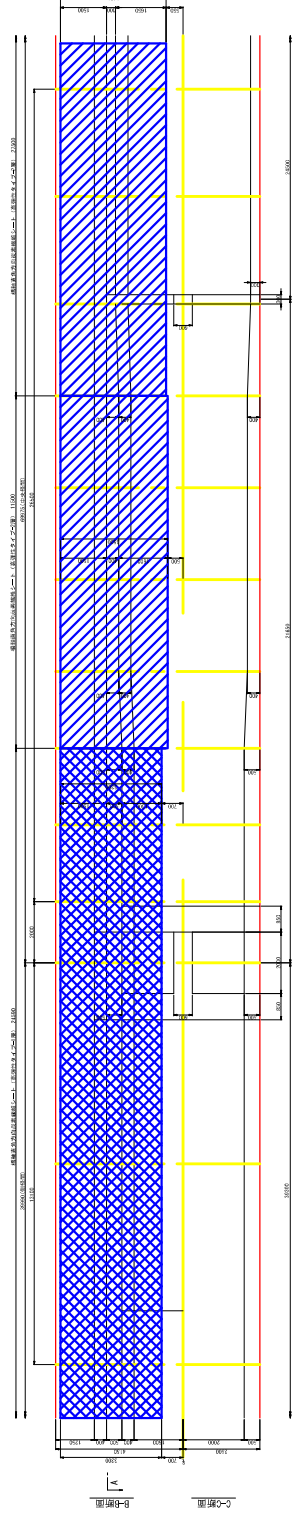
工 事 名	床版上面繊維シート補強図 (その1)
図 面 名	床版上面繊維シート補強図 (その1)
作成年月	年 月
縮 尺	S=1:50
図 面 番 号	/
製 造 社 名	センプラコンクリート株式会社
製 業 者 名	製業社

断面図 床版上面繊維シート補強図(その2) S=1.50



※ 斜線は繊維シート1層による補強範囲を示す  
 点線は繊維シート2層による補強範囲を示す

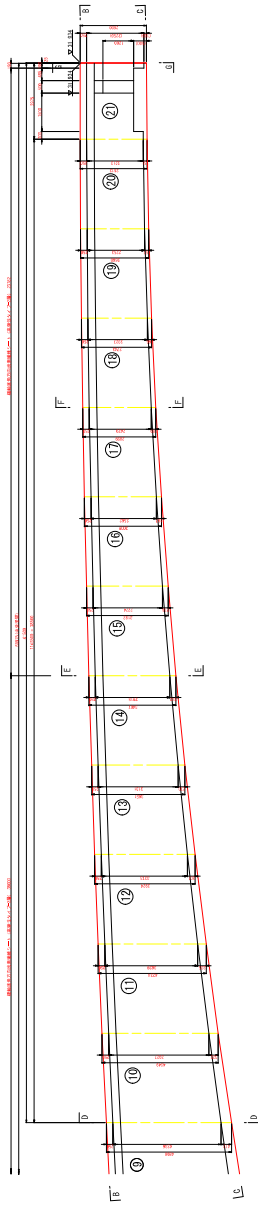
平面図



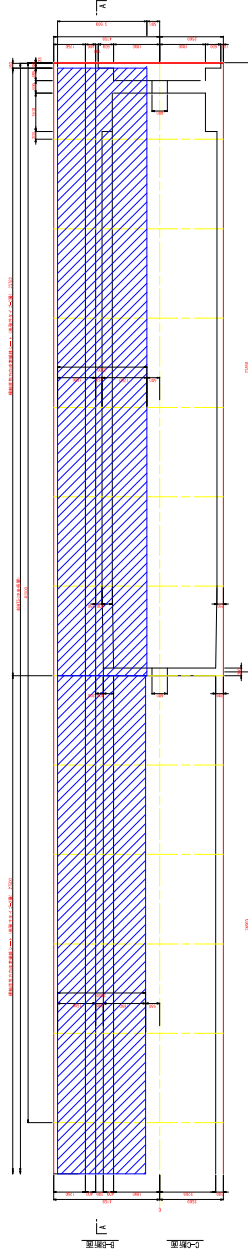
工番	100
図名	床版上面繊維シート補強図(その2)
縮尺	1/50
設計	〇〇〇〇
校核	〇〇〇〇
承認	〇〇〇〇
作成	〇〇〇〇
日付	〇〇/〇〇/〇〇
会社	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
担当者	〇〇〇〇
確認者	〇〇〇〇
承認者	〇〇〇〇

床版上面繊維シート補強図 (その3) S=1.50

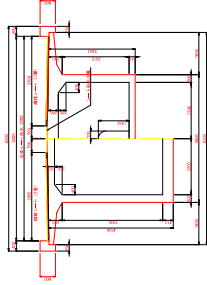
断面図  
上-断面



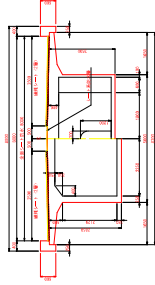
平面図



断面図  
上-断面



断面図  
上-断面



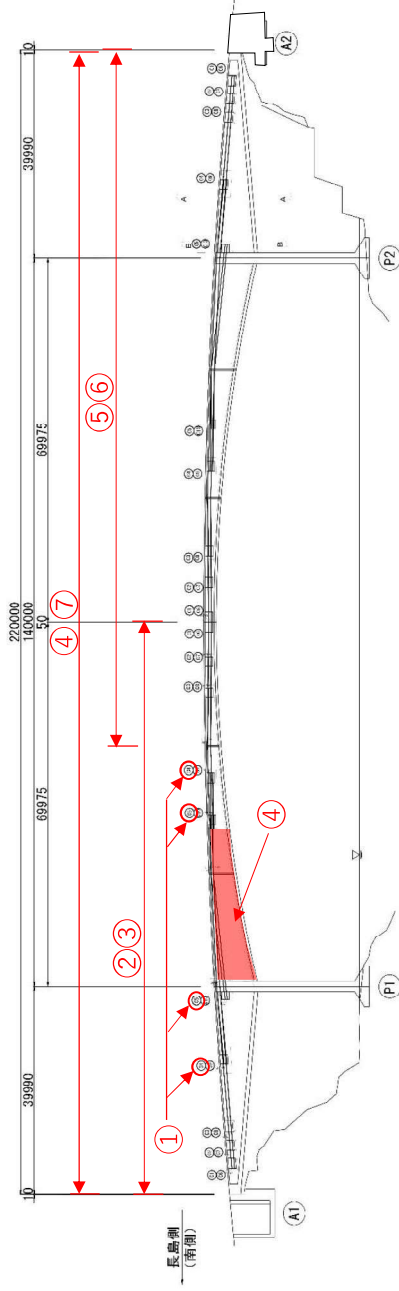
シート構成図  
上-断面構成



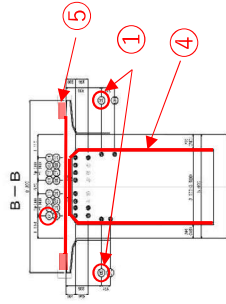
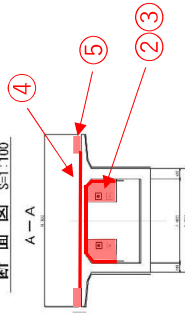
標準仕様シート、仕様表	
品名	繊維強化プラスチックシート
規格	JIS S 5035
寸法	幅 1000mm 長さ 2000mm
重量	約 1.5kg/㎡
引張強度	約 150N/25mm幅
引張伸び	約 10%
引張弾性率	約 1.5GPa
引張耐力	約 1500N/25mm幅
引張断面積	約 1000mm <sup>2</sup>
引張断面積率	約 0.1%

橋梁全体一般図

側面図 S=1:400



断面図 S=1:100



(1) = 外ケール  
 (2) = 定着ブロック  
 (3) = 定着ブロック繊維シート補強工  
 (4) = 繊維シート工  
 (5) = 歩道部中詰めEPS化  
 (6) = 主鋼棒継手補修工  
 (7) = 断面修復工

平成21年度 施工概要

- ①外ケール設置工:3本(長島側)C5(2本)C4
- ②定着ブロック:20基(長島側)
- ③定着ブロック繊維シート補強工:1式(長島側)
- ④繊維シート工:2146m<sup>2</sup>(床版上下面 桁壁面)
- ⑤歩道部中詰めEPS化:1式
- ⑥主鋼棒継手補修工:1式
- ⑦断面修復工:1式

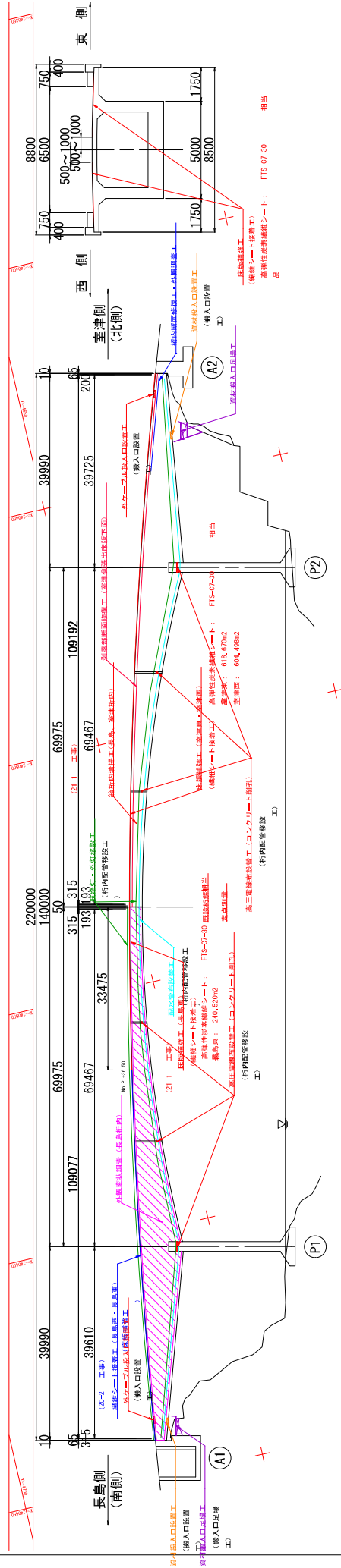
# 床版補強工一般図

(補強工事履歴)

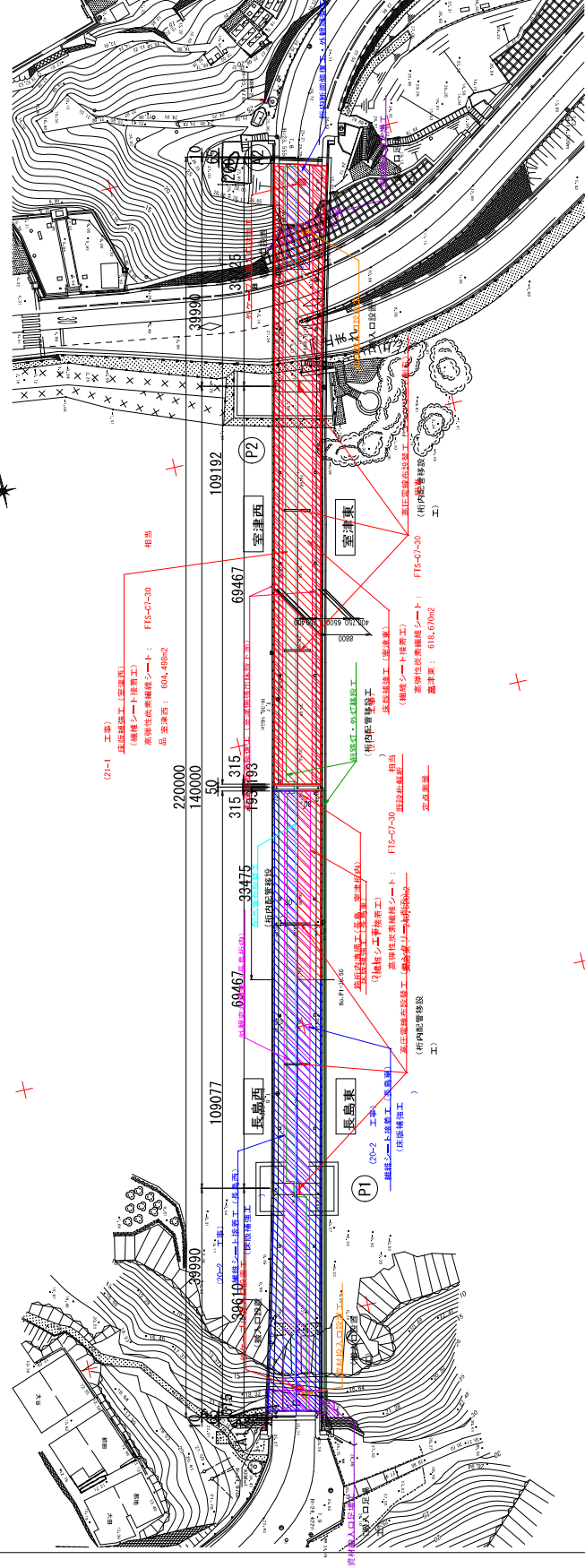
橋梁床版  
床版補強工

側面図 S=1:400

標準横断面図 S=1:100



平面図 S=1:400



## 竣工時設計条件

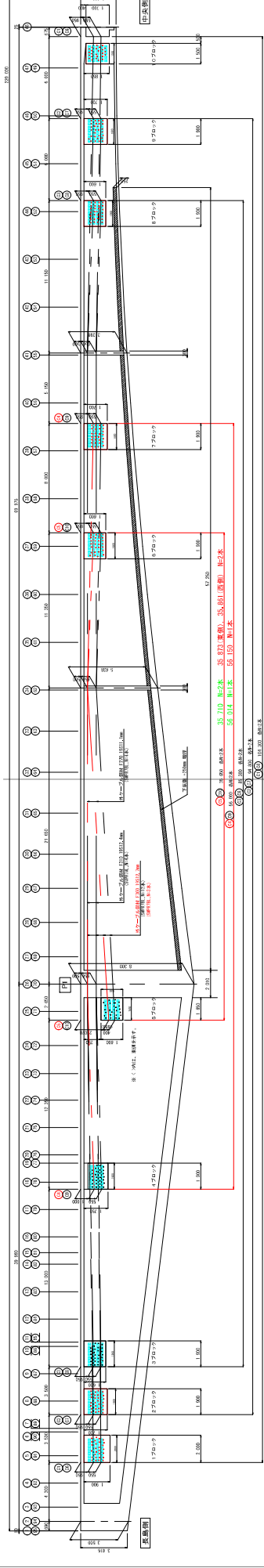
橋名	設計条件
上開大橋	
橋種	プレストレストコンクリート道路橋
橋階	二階橋
工法	ディレクター工法
型式	箱型断面三跨連続片状橋
橋長	270,000 m
支間	39,990 m + 140,000 m + 39,990 m
幅員	0.75 m (歩道幅) × 2.6, 5 m (車道幅)
橋脚勾配	2 % 放物線勾配、放物線勾配
橋脚係数	$\mu = 0.02$
摩擦係数	$Kv = 0.1, \mu_h = 0.15$
材料	
上部	$\sigma_{sk} = 350 \text{ kg/cm}^2$
橋脚	$\sigma_{sk} = 280 \text{ kg/cm}^2$
橋台	$\sigma_{sk} = 240 \text{ kg/cm}^2$
コンクリート	$\sigma_{sk} = 280 \text{ kg/cm}^2$
主筋	S55D 95/120 $\phi 33$
床版	S55D 95/120 $\phi 27$

工事名	作成年月日	図尺	図面番号	会社名	作業者名
床版補強工一般図	平成23年1月		/	三井住友建設株式会社	山口真樹井土木建設事務所

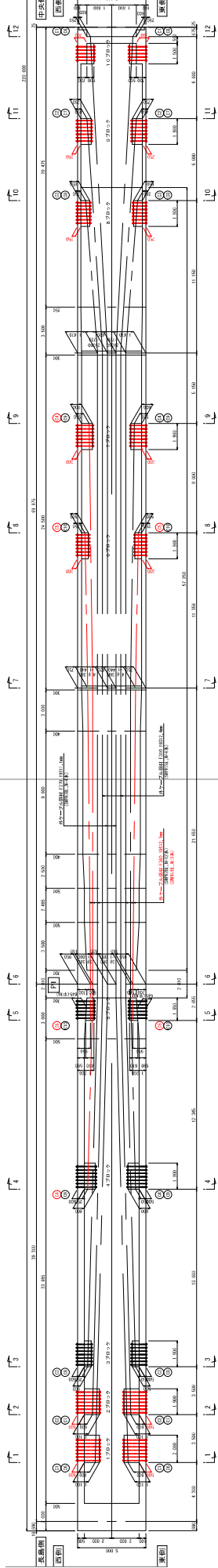
# 外ケーブル補強工(33)

## 外ケーブル材料費(その1)

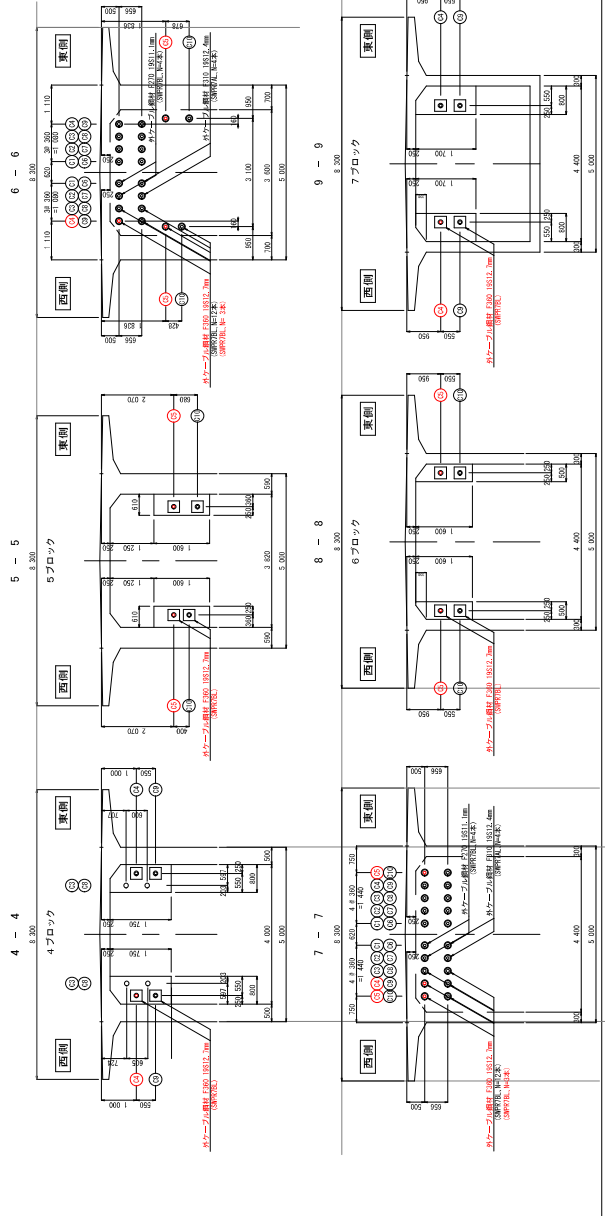
側面図



平面図



断面図



外ケーブル材料費 (C4, C5) 数量表

品名	規格	数量	単位	備考
F80	18S12.7mm	56,014	56,190	190
F80	18S12.7mm	35,710	36,220	150

外ケーブル材料費 (C4, C5) 数量

$C4 \quad N = 1 \text{本} \quad 1 \text{本}$   
 $C5 \quad N = 2 \text{本} \quad 2 \text{本}$

外ケーブル鋼材長・組立工 数量

$L = 56,354 + 36,050 \times 2 = 128,454 \text{ m}$   
 $L = 56,590 + 36,320 \times 2 = 129,230 \text{ m}$

工事名	外ケーブル補強工 (33)
図面名	外ケーブル補強工 (33)
作成年月	平成23年 3月
縮尺	MON SCALE
図面番号	/
会社名	三井住友建設株式会社
事業者名	山口県土木建設事務所